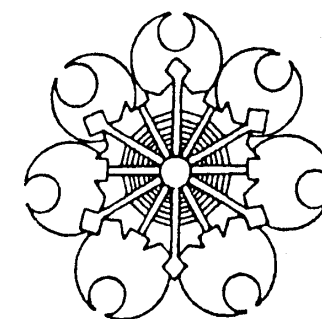


令和元年版

消
防
年
報

宮古地区広域行政組合
消防本部



消 防 年 報

令和元年版

(令和2年8月刊行)

宮古地区広域行政組合
消 防 本 部

は し が き

この消防年報は、令和元年（一部令和２年度）中における宮古地区広域行政組合管内の消防業務及び諸般の現況を収録したもので、その実態を紹介し、消防体制についてご理解をいただくとともに今後の参考に編さんしたものであります。

令和２年８月

宮古地区広域行政組合消防本部

目 次

I 組合の概要

組合消防の沿革	1
宮古地区広域行政組合の機構	8
宮古広域管内の概況	9

II 業 務

第1 総 務	10
1 職 員	10
2 研 修	10
3 表 彰	10
第2 予 防	11
1 予防査察	11
2 建築同意	11
3 防火管理	11
4 防災規制	11
5 危険物規制	12
6 消防用設備等の規制	12
7 防火対象物定期点検報告制度	12
8 防火対象物表示制度	13
9 住宅防火対策	13
10 自主防災組織	13
第3 警 防	13
1 消防車両	13
2 消防水利	14
第4 通 信	14
1 通信指令施設	14
2 ホームページ	14
第5 火 災	14
第6 救急・救助	14
1 救急業務の概要	14
2 救急出場件数	14
3 緊急消防援助隊	14
4 防災ヘリコプター・ドクターヘリによる救急搬送	15
5 救助活動状況	15

III 総 務

過去5ヶ年歳入歳出決算額の推移	16
令和2年度宮古地区広域行政組合（消防分）当初予算	17
広域管内状況	18
消防本部及び消防署所の配置図	19
消防庁舎施設状況	20
消防職員の配置状況・岩手県消防学校教育派遣状況・消防大学校及び救急救命士教育派遣状況	24
消防職員階級別年齢と勤続年数	25
消防職員年度別消防職員数の推移及び年齢構成	26
消防職員技術資格取得状況	27

IV 予 防

防火対象物の現況	28
消防用設備等設置状況	29
用途別建築同意処理状況	30
用途別建築同意件数と過去 5 年間の推移	31
危険物施設の現況と査察実施状況	32
危険物関係事務処理状況、手数料徴収状況	33

V 警 防

管内消防力の現況	34
署別消防車両等配置状況	35
署別主力機械の現況	36
市町村別消防水利の現況	37

VI 通 信

通信施設配置状況	38
災害等通報状況（回線別）	39
デジタル無線基地局・簡易基地局等エリア概略図	40
気象予警報・津波注意報等発表状況	41

VII 救急・救助

月別救急活動状況	42
救急活動の推移（過去 10 年間）	43
所属別救急活動状況・現場到着所要時間別出場状況・収容所要時間別搬送状況	44
時間別出場件数・時間別搬送状況	45
傷病程度別搬送人員・年齢別搬送人員	46
所属別救助活動状況	47
救助活動の推移（過去 10 年間）	48
所属別救助出動（活動）人員状況・救助出動（活動）車両状況	49

VIII 火 災

火災の概況	50
市町村別火災発生状況	51
火災原因別出火件数・四季別火災発生件数・火災覚知別件数	52
累年の火災発生件数と損害額	53

IX 消 防 団

広域市町村別消防力の現況・在職年数別消防団員数・年齢別消防団員数	54
管内消防団の組織機構	55

I 組合の概要

組 合 消 防 の 沿 革

昭和 47 年 7 月	宮古地区広域市町村圏協議会を結成
昭和 48 年 4 月	宮古地区広域道路舗装組合を設立
昭和 49 年 4 月	道路舗装組合と合併、名称を宮古地区広域消防等組合と改称し圏内の中核である宮古市に消防本部と宮古消防署を地域的事務を分掌させるため、田老町、田野畑村、新里村、川井村にそれぞれ宮古消防署の分署を新設、山田町には従来からの山田町消防団常備消防部を消防署に昇格させ、岩泉町に消防署を新設して広域消防を発足した。
昭和 49 年 12 月	釜石海上保安部と業務協定（船舶及び流出油の火災について）
昭和 50 年 5 月	岩手県内の一部事務組合及び市と消防相互応援協定を締結
昭和 50 年 7 月	盛岡地区広域行政事務組合と川井村大字田代地区の救急業務応援協定を締結
昭和 55 年 3 月	規約の変更により名称を宮古地区広域消防組合に改められる。 （許可昭和55年 5 月 1 日）
昭和 56 年 4 月	宮古地区広域消防組合事務局を消防本部に統合し、消防本部の機構を三課制に改正した。
昭和 56 年 6 月	消防本部、宮古消防署新庁舎を竣工（鉄筋コンクリート造り3階建て、建築延べ面積2,899.61㎡ 工事費558,000千円）
昭和 56 年 10 月	消防本部、宮古消防署新庁舎に移転業務開始
昭和 59 年 4 月	宮古消防署に24m級はしご付消防ポンプ自動車配置 1台
昭和 59 年 4 月	宮古消防署に救急車更新配置 1台
昭和 59 年 11 月	宮古消防署川井分署に救急車更新配置 1台
昭和 59 年 11 月	宮古消防署に救助工作車新規配置 1台（クレーン・ウインチ・主照明灯装置付）
昭和 60 年 3 月	空中消火等補給基地竣工（宮古市赤前地内） 総事業費 177,243千円 1. ヘリコプター離発着用広場 18,357㎡ 2. 貯水槽、40m×2基 3. 資機材保管等施設 4. 空中消火用資機材
昭和 60 年 5 月	空中消火等補給基地開き（現地）にて引き続き落成式と祝賀会を開催
昭和 61 年 1 月	岩泉消防署に山林スプレーヤー配置 1台
昭和 61 年 1 月	宮古消防署に化学消防ポンプ自動車新規配置 1台
昭和 61 年 3 月	宮古消防署田老分署に救急車更新配置 1台
昭和 61 年 3 月	宮古消防署新里分署に救急車更新配置 1台
昭和 61 年 3 月	岩手県内一部事務組合及び市と締結している消防相互応援協定に救急及び救助事務を加える。
昭和 61 年 12 月	宮古消防署に資機材搬送車更新配置 1台
昭和 61 年 12 月	宮古消防署に消防指導車更新配置 1台
昭和 62 年 2 月	宮古消防署田野畑分署に救急車更新配置 1台
昭和 62 年 3 月	山田消防署に水槽付消防ポンプ自動車更新配置 1台
昭和 62 年 3 月	岩泉消防署に消防指導車更新配置 1台
昭和 62 年 3 月	宮古消防署新里分署に消防指導車更新配置 1台
昭和 62 年 3 月	宮古消防署川井分署に消防指導車更新配置 1台
昭和 62 年 7 月	宮古地区広域消防組合に宮古地区広域市町村圏協議会、宮古下閉伊食肉処理組合、岩泉町、田野畑村伝染病隔離病舎組合及び陸中衛生処理組合を統合して宮古地区広域行政組合を発足した。
昭和 62 年 10 月	宮古消防署田老分署に小型動力ポンプ（B3級）新規配置 1台
昭和 62 年 11 月	山田消防署に消防指導車を新規配置 1台
昭和 62 年 11 月	山田消防署に救急車更新配置 1台
昭和 63 年 2 月	宮古消防署水槽付消防ポンプ自動車更新配置 1台

昭和 63 年 3 月	宮古消防署救急車（4WD）更新配置 1 台
昭和 63 年 10 月	宮古消防署田野畑分署に消防指導車（4WD）更新配置 1 台
昭和 63 年 11 月	宮古消防署田老分署庁舎水槽付消防ポンプ自動車配置に伴う増改築
昭和 63 年 11 月	宮古消防署川井分署庁舎老朽化により屋上部の改築
平成 元 年 1 月	宮古消防署田老分署に水槽付消防ポンプ自動車更新配置 1 台
平成 元 年 1 月	宮古消防署川井分署に水槽付消防ポンプ自動車更新配置 1 台
平成 元 年 10 月	宮古消防署に消防指導車更新配置 1 台
平成 元 年 10 月	宮古消防署新里分署に小型動力ポンプ（B3級）新規配置 1 台
平成 元 年 10 月	宮古消防署に消防ポンプ自動車（CD-I）更新配置 1 台
平成 2 年 10 月	岩泉消防署に小型動力ポンプ（B3級）新規配置 1 台
平成 3 年 1 月	山田消防署に資機材搬送車新規配置 1 台
平成 3 年 3 月	宮古消防署に小型動力ポンプ付水槽車Ⅱ型新規配置 1 台
平成 3 年 3 月	岩泉消防署庁舎増改築
平成 3 年 3 月	宮古消防署田老分署庁舎改築
平成 3 年 3 月	宮古消防署新里分署庁舎増改築
平成 3 年 10 月	宮古消防署川井分署に小型動力ポンプ（B3級）更新配置 1 台
平成 4 年 2 月	岩泉消防署に救急車（4WD）更新配置 1 台
平成 4 年 3 月	宮古消防署田野畑分署庁舎改築
平成 4 年 3 月	宮古消防署田老分署にホース乾燥塔設置
平成 4 年 11 月	宮古消防署に乗用車更新配置 1 台
平成 5 年 1 月	岩泉消防署に消防指導車更新配置 1 台 無線機移動局 1 基配置
平成 5 年 1 月	宮古消防署新里分署に消防ポンプ自動車（CD-I 型）更新配置 1 台
平成 5 年 2 月	岩泉消防署に水槽付消防ポンプ自動車更新配置 1 台
平成 5 年 5 月	救急救命士資格取得 1 名
平成 6 年 3 月	十二神山無線中継局開局
平成 6 年 4 月	宮古消防署に高規格救急自動車配置 1 台（損害保険協会寄贈）
平成 6 年 5 月	救急救命士資格取得 1 名
平成 6 年 6 月	高規格救急自動車運用開始
平成 7 年 1 月	宮古消防署に指令車更新配置 1 台
平成 7 年 1 月	宮古消防署に救助用資機材新規配置 一式
平成 7 年 2 月	山田・岩泉消防署に高規格救急自動車新規配置 各一式
平成 7 年 3 月	宮古消防署に高度救急教育訓練資機材新規配置 1 台
平成 7 年 4 月	山田消防署新庁舎竣工
平成 7 年 5 月	救急救命士資格取得 1 名
平成 8 年 2 月	宮古消防署に消防指導車更新配置 1 台
平成 8 年 2 月	宮古消防署川井分署に高規格救急自動車更新配置 一式
平成 8 年 2 月	岩泉消防署及び宮古消防署田老分署、新里分署に救助用資機材新規配置 各一式
平成 8 年 5 月	救急救命士資格取得 1 名
平成 8 年 7 月	宮古消防署にマイクロバス更新配置 1 台
平成 8 年 11 月	救急救命士資格取得 1 名
平成 9 年 2 月	山田・岩泉消防署に消防指導車更新配置 各 1 台
平成 9 年 2 月	宮古消防署田老・新里分署に高規格救急自動車新規配置 各一式
平成 9 年 2 月	宮古消防署に消防ポンプ自動車（CD-I 型 4WD）配置 1 台
平成 9 年 3 月	山田消防署に小型動力ポンプ付水槽車新規配置 1 台
平成 9 年 5 月	救急救命士資格取得 1 名
平成 9 年 11 月	救急救命士資格取得 1 名
平成 10 年 1 月	宮古消防署田野畑分署に救助用資機材新規配置 一式
平成 10 年 3 月	宮古消防署及び宮古消防署田野畑分署に高規格救急自動車更新配置 各一式 （宮古消防署には災害対応特殊救急自動車）

平成 10 年 3 月	山田消防署に救助工作車（Ⅱ型）新規配置 1 台
平成 10 年 3 月	山田消防署に消防ポンプ自動車（CD－Ⅰ型 4WD）更新配置 1 台
平成 10 年 3 月	宮古消防署田老分署・新里分署・川井分署に消防指導車を更新配置 各 1 台
平成 10 年 3 月	岩泉消防署消防緊急通信指令装置更新整備
平成 10 年 4 月	災害時対応として消防無線用受信機を全職員に貸与
平成 10 年 11 月	救急救命士資格取得 1 名
平成 11 年 2 月	山田消防署に消防指導車更新配置 1 台
平成 11 年 3 月	宮古消防署田野畑分署に消防指導車更新配置 1 台
平成 11 年 3 月	山田消防署に高規格救急自動車更新配置（2 台目）一式
平成 11 年 5 月	救急救命士資格取得 1 名
平成 11 年 10 月	宮古消防署に広報車を更新配置 1 台
平成 11 年 11 月	救急救命士資格取得 1 名
平成 12 年 3 月	宮古消防署川井分署に 119 番通報受付装置を新規整備
平成 12 年 3 月	山田消防署に水槽付消防ポンプ自動車（水－Ⅱ型）を更新配置 1 台
平成 12 年 3 月	宮古消防署田野畑分署に水槽付消防ポンプ自動車（水－Ⅱ型）を更新配置 1 台
平成 12 年 5 月	救急救命士資格取得 1 名
平成 12 年 6 月	平津戸無線中継局開局
平成 12 年 8 月	山田消防署に小型動力ポンプ（B 3 級）新規配置 1 台
平成 12 年 11 月	救急救命士資格取得 1 名
平成 13 年 3 月	消防本部消防緊急通信指令施設（Ⅰ型）更新整備
平成 13 年 3 月	宮古消防署に消防ポンプ自動車（CD－Ⅰ型 4WD）更新配置 1 台
平成 13 年 3 月	岩泉消防署に高規格救急自動車更新配置（2 台目）一式
平成 13 年 4 月	消防本部消防緊急通信指令施設運用開始
平成 13 年 4 月	宮古地区広域行政組合消防本部ホームページ開設
平成 13 年 4 月	消防本部の組織改正により指令課を新設し、同課に指令第一係・指令第二係を設置して、3 課 5 係体制とする。また、課長補佐・主査制度を導入する。消防署の組織改正により、分署に係長制度を導入し、併せて消防署次席を副署長に、分署長代理を副分署長に改称する。
平成 13 年 4 月	消防本部消防計画策定
平成 13 年 4 月	岩手県内の一部事務組合及び市と締結している消防相互応援協定の全部改正し、火災原因調査支援体制を追加した。
平成 13 年 5 月	救急救命士資格取得 1 名
平成 13 年 6 月	消防本部行政改革大綱策定
平成 13 年 10 月	宮古消防署に消防指導車配置 1 台
平成 13 年 11 月	救急救命士資格取得 2 名
平成 14 年 1 月	職員定数条例を 183 名から 253 名に改正施行
平成 14 年 3 月	宮古消防署に屈折はしご付消防ポンプ自動車（20m 級）更新配置 1 台
平成 14 年 3 月	小松山無線中継局開局
平成 14 年 5 月	救急救命士資格取得 2 名
平成 14 年 8 月	宮古消防署に小型動力ポンプ（B 3 級）更新配置 1 台
平成 14 年 8 月	宮古消防署田老分署に小型動力ポンプ（B 3 級）更新配置 1 台
平成 14 年 8 月	宮古消防署田野畑分署に小型動力ポンプ（B 3 級）新規配置 1 台
平成 14 年 9 月	消防本部ネットワークシステム運用開始
平成 14 年 10 月	宮古消防署に資機材搬送車（クレーン付）更新配置 1 台
平成 14 年 10 月	岩泉消防署に指導車更新配置 1 台
平成 14 年 11 月	宮古消防署庁舎暖房配管改修工事竣工
平成 14 年 11 月	救急救命士資格取得 2 名
平成 15 年 3 月	宮古消防署に高規格救急自動車更新配置 1 台
平成 15 年 3 月	宮古消防署川井分署に資機材搬送車新規配置 1 台

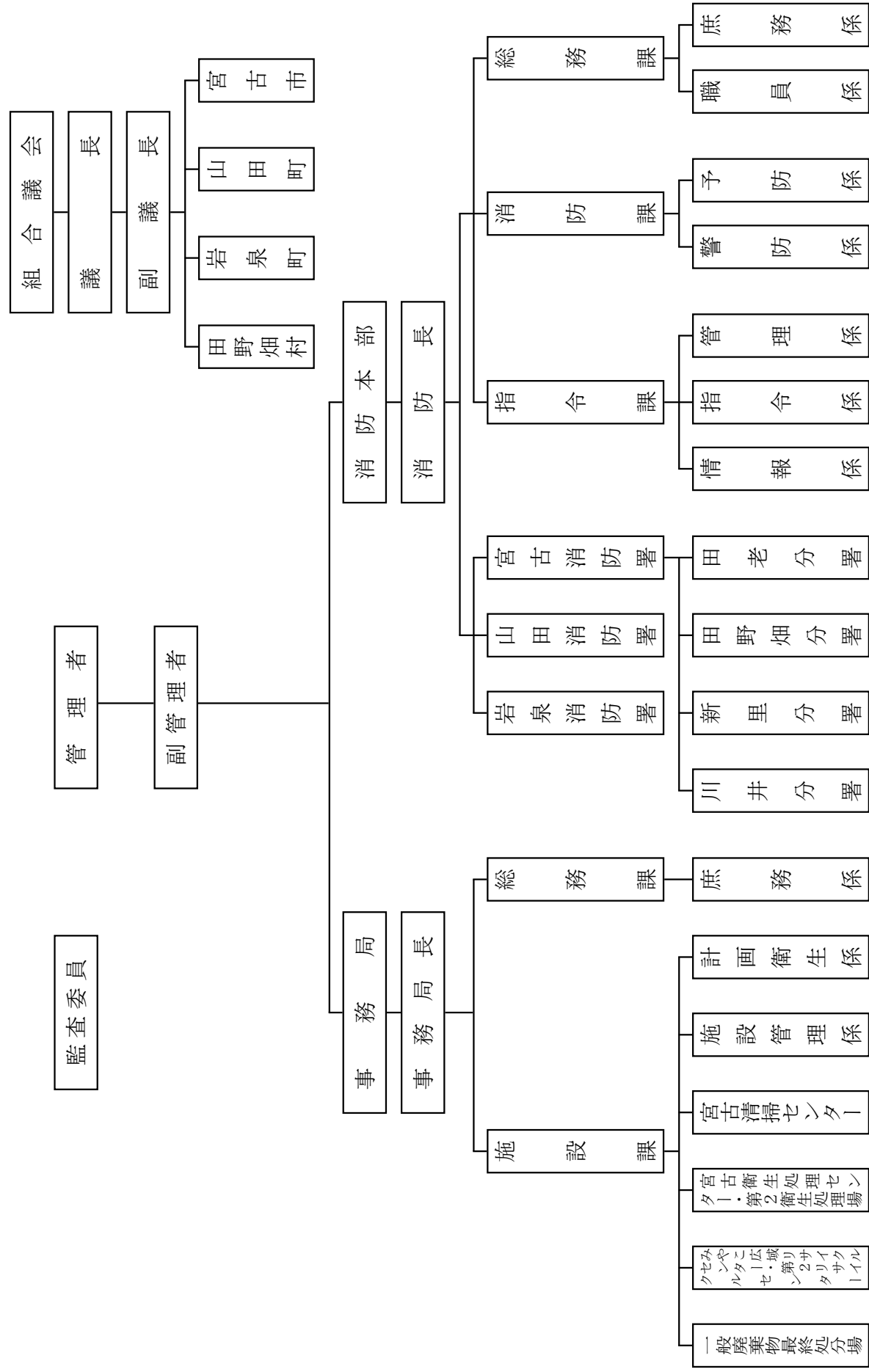
平成 15 年 3 月	宮古地区広域メディカルコントロール協議会設立
平成 15 年 4 月	宮古消防署川井分署新庁舎竣工
平成 15 年 5 月	救急救命士資格取得 2 名
平成 15 年 10 月	交代制勤務を二部制から三部制に移行する。
平成 15 年 10 月	山田消防署に資機材搬送車（クレーン付）更新配置 1 台
平成 15 年 11 月	救急救命士資格取得 2 名
平成 16 年 3 月	宮古消防署に救助工作車（Ⅱ型）更新配置 1 台
平成 16 年 3 月	岩泉消防署に消防ポンプ自動車（CD－Ⅰ型 4WD）更新配置 1 台
平成 16 年 3 月	消防本部の組織改正により指令課を廃止し、総務課に職員係を設置して、2 課 4 係体制とする。
平成 16 年 5 月	救急救命士資格取得 2 名
平成 16 年 11 月	救急救命士資格取得 2 名
平成 17 年 3 月	宮古消防署に化学消防ポンプ自動車（Ⅱ型 4WD）更新配置 1 台
平成 17 年 3 月	宮古消防署川井分署に水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型 4WD）更新配置 1 台
平成 17 年 4 月	救急救命士気管挿管実習認定 1 名
平成 17 年 5 月	救急救命士資格取得 2 名
平成 17 年 10 月	救急救命士気管挿管実習認定 1 名
平成 17 年 11 月	救急救命士資格取得 2 名
平成 18 年 1 月	救急救命士気管挿管実習認定 1 名
平成 18 年 1 月	救急救命士薬剤投与認定 1 名
平成 18 年 3 月	救急救命士気管挿管実習認定 1 名
平成 18 年 3 月	宮古消防署に高規格救急自動車更新配置 1 台
平成 18 年 5 月	救急救命士資格取得 2 名
平成 18 年 6 月	救急救命士気管挿管実習認定 1 名
平成 18 年 7 月	救急救命士薬剤投与認定 1 名
平成 18 年 9 月	救急救命士薬剤投与認定 1 名
平成 18 年 10 月	救急救命士気管挿管実習認定 1 名
平成 18 年 12 月	天ヶ森無線中継局機器更新工事完成
平成 18 年 12 月	宮古消防署新里分署に小型動力ポンプ（B 3 級）更新配置 1 台
平成 18 年 12 月	宮古消防署に消防指導車更新配置 1 台
平成 19 年 1 月	救急救命士気管挿管実習認定 1 名
平成 19 年 3 月	救急救命士気管挿管実習認定 1 名
平成 19 年 5 月	救急救命士資格取得 2 名、薬剤投与認定 2 名
平成 19 年 6 月	救急救命士気管挿管実習認定 1 名
平成 19 年 7 月	救急救命士薬剤投与認定 1 名
平成 19 年 9 月	救急救命士気管挿管実習認定 1 名
平成 19 年 9 月	救急救命士薬剤投与認定 1 名
平成 20 年 2 月	救急救命士気管挿管実習認定 1 名
平成 20 年 2 月	岩泉消防署に高規格救急自動車更新配置 1 台
平成 20 年 2 月	宮古消防署川井分署に高規格救急自動車更新配置 1 台
平成 20 年 3 月	宮古消防署補助訓練塔改修
平成 20 年 4 月	救急救命士気管挿管実習認定 1 名
平成 20 年 5 月	救急救命士資格取得 2 名、薬剤投与認定 2 名
平成 20 年 6 月	救急救命士気管挿管実習認定 1 名
平成 20 年 8 月	救急救命士薬剤投与認定 1 名
平成 20 年 9 月	救急救命士薬剤投与認定 1 名
平成 20 年 10 月	救急救命士気管挿管実習認定 1 名
平成 20 年 11 月	山田消防署に高規格救急自動車更新配置 1 台
平成 20 年 11 月	岩泉消防署に水槽付消防ポンプ自動車更新配置 1 台

平成 20 年 11 月	宮古消防署田老分署に水槽付消防ポンプ自動車更新配置	1 台
平成 20 年 12 月	救急救命士気管挿管実習認定	1 名
平成 21 年 2 月	救急救命士気管挿管実習認定	1 名
平成 21 年 3 月	119 番集中受付（田老・新里）運用開始	
平成 21 年 5 月	救急救命士資格取得	2 名、薬剤投与認定 2 名
平成 21 年 5 月	宮古消防署プールろ過機改修	
平成 21 年 6 月	救急救命士薬剤投与認定	1 名
平成 21 年 6 月	救急救命士気管挿管実習認定	1 名
平成 21 年 8 月	宮古消防署に空気充填コンプレッサー更新配置	
平成 21 年 9 月	救急救命士薬剤投与認定	1 名
平成 21 年 9 月	救急救命士気管挿管実習認定	1 名
平成 21 年 9 月	宮古消防署に広報車更新配置	1 台
平成 21 年 12 月	救急救命士気管挿管実習認定	1 名
平成 21 年 12 月	救急救命士薬剤投与認定	1 名
平成 22 年 2 月	岩泉消防署下水道管接続	
平成 22 年 3 月	救急救命士気管挿管実習認定	1 名
平成 22 年 3 月	宮古消防署に小型動力ポンプ付水槽車更新配置	1 台
平成 22 年 3 月	岩泉消防署に指導車更新配置	1 台
平成 22 年 3 月	宮古消防署田老分署及び新里分署に高規格救急自動車更新配置	各 1 台
平成 22 年 5 月	救急救命士資格取得	2 名、薬剤投与認定 2 名
平成 22 年 6 月	救急救命士薬剤投与認定	1 名
平成 22 年 7 月	救急救命士薬剤投与認定	1 名
平成 22 年 7 月	宮古消防署に業務車更新配備	1 台
平成 22 年 9 月	救急救命士薬剤投与認定	1 名
平成 22 年 9 月	救急救命士気管挿管実習認定	1 名
平成 22 年 11 月	岩泉消防署庁舎耐震診断実施	
平成 22 年 12 月	救急救命士気管挿管実習認定	1 名
平成 22 年 12 月	宮古消防署川井分署に指導車更新配置	1 台
平成 23 年 1 月	宮古消防署新里分署車庫増築 (37.26m ²)	
平成 23 年 2 月	宮古消防署及び新里分署に水槽付消防ポンプ自動車更新配置	各 1 台
平成 23 年 3 月	宮古消防署及び田野畑分署に高規格救急自動車更新配置	各 1 台
平成 23 年 3 月	東北地方太平洋沖地震大津波襲来（東日本大震災） 職員 4 名殉職、1 名負傷、山田消防署庁舎半壊、田老分署全壊、車両 8 台損壊、 空中消火等補給基地全壊	
平成 23 年 3 月	救急救命士気管挿管実習認定	1 名
平成 23 年 5 月	救急救命士資格取得	2 名、薬剤投与認定 2 名
平成 23 年 5 月	救急救命士薬剤投与認定	2 名
平成 23 年 6 月	救急救命士薬剤投与認定	1 名
平成 23 年 6 月	宮古消防署庁舎耐震診断実施	
平成 23 年 7 月	東日本大震災消防職員合同慰霊祭举行	
平成 23 年 8 月	宮古消防署川井分署に小型動力ポンプ更新配置	1 台
平成 23 年 10 月	宮古消防署田野畑分署に指導車更新配置	1 台
平成 23 年 10 月	救急救命士気管挿管実習認定	1 名
平成 23 年 11 月	宮古消防署田老分署に小型動力ポンプ更新配置（東日本大震災被災ポンプ）	1 台
平成 23 年 12 月	宮古消防署に高規格救急自動車配置（名古屋市寄贈）	1 台
平成 23 年 12 月	救急救命士気管挿管実習認定	1 名
平成 23 年 12 月	宮古消防署田老分署仮設車庫災害復旧工事完了	
平成 24 年 2 月	救急救命士気管挿管実習認定	1 名
平成 24 年 2 月	宮古消防署田老分署に指導車更新配置（東日本大震災被災車両）	1 台

平成 24 年 3 月	宮古消防署に指導 2 号車更新配置（東日本大震災被災車両）	1 台
平成 24 年 3 月	山田消防署に指導 1 号車更新配置（東日本大震災被災車両）	1 台
平成 24 年 3 月	山田消防署に指導 2 号車更新配置（東日本大震災被災車両）	1 台
平成 24 年 3 月	山田消防署に資機材搬送車更新配置（東日本大震災被災車両）	1 台
平成 24 年 3 月	山田消防署に小型動力ポンプ更新配置（東日本大震災被災ポンプ）	1 台
平成 24 年 3 月	宮古消防署田老分署に水槽付消防ポンプ自動車更新配置（東日本大震災被災車両）	1 台
平成 24 年 3 月	宮古消防署田老分署に高規格救急自動車更新配置（東日本大震災被災車両）	1 台
平成 24 年 3 月	東日本大震災による消防職員殉職者追悼式挙行	
平成 24 年 3 月	119 番集中受付（川井）運用開始	
平成 24 年 3 月	山田消防署庁舎災害復旧工事完了	
平成 24 年 5 月	救急救命士資格取得	2 名
平成 24 年 5 月	救急救命士薬剤投与認定	3 名
平成 24 年 9 月	救急救命士気管挿管実習認定	1 名
平成 24 年 11 月	救急救命士気管挿管実習認定	1 名
平成 25 年 3 月	宮古消防署に高規格救急自動車更新配置（東日本大震災被災車両）	1 台
平成 25 年 3 月	東日本大震災による消防職員殉職者追悼式挙行	
平成 25 年 5 月	救急救命士資格取得	2 名
平成 25 年 5 月	救急救命士薬剤投与認定	2 名
平成 25 年 7 月	岩泉消防署庁舎増改築工事竣工	
平成 25 年 10 月	宮古消防署庁舎改修工事竣工	
平成 25 年 11 月	宮古消防署構内舗装補修工事竣工	
平成 26 年 1 月	救急救命士気管挿管実習認定	1 名
平成 26 年 2 月	宮古消防署新里分署に指導車更新配置	1 台
平成 26 年 3 月	東日本大震災による消防職員殉職者追悼式挙行	
平成 26 年 3 月	岩泉消防署に資機材搬送車新規配置	1 台
平成 26 年 3 月	山田消防署に高規格救急自動車更新配置	1 台
平成 26 年 3 月	救急救命士気管挿管実習認定	1 名
平成 26 年 3 月	消防救急デジタル無線工事竣工（災害復旧）	
平成 26 年 3 月	宮古消防署庁舎屋根防水等改修工事竣工	
平成 26 年 3 月	宮古消防署に消防ポンプ自動車（CD-I 型）更新配置	1 台
平成 26 年 4 月	救急救命士資格取得	2 名
平成 26 年 4 月	救急救命士薬剤投与認定	2 名
平成 26 年 8 月	宮古消防署車庫シャッター修繕	
平成 26 年 9 月	救急救命士気管挿管実習認定	1 名
平成 26 年 11 月	救急救命士気管挿管実習認定	1 名
平成 26 年 12 月	宮古消防署新里分署庁舎耐震診断実施	
平成 27 年 1 月	宮古消防署田野畑分署庁舎移転（田野畑村中央防災センター）	
平成 27 年 2 月	岩泉消防署に高規格救急自動車更新配置	1 台
平成 27 年 3 月	宮古消防署消防緊急通信指令施設修繕	
平成 27 年 3 月	宮古消防署に指令車更新配置	1 台
平成 27 年 4 月	救急救命士資格取得	2 名
平成 27 年 8 月	救急救命士気管挿管実習認定	1 名
平成 27 年 10 月	宮古消防署暖房用オイル配管修繕	
平成 28 年 2 月	岩泉消防署に消防指導車更新配置	1 台
平成 28 年 3 月	宮古消防署田老分署新庁舎竣工（災害復旧）	
平成 28 年 5 月	救急救命士資格取得	3 名
平成 28 年 8 月	台風 10 号襲来（太平洋側から上陸） 職員 1 名負傷、岩泉消防署庁舎床上浸水	
平成 28 年 10 月	消防無線アナログ設備解体撤去工事竣工	

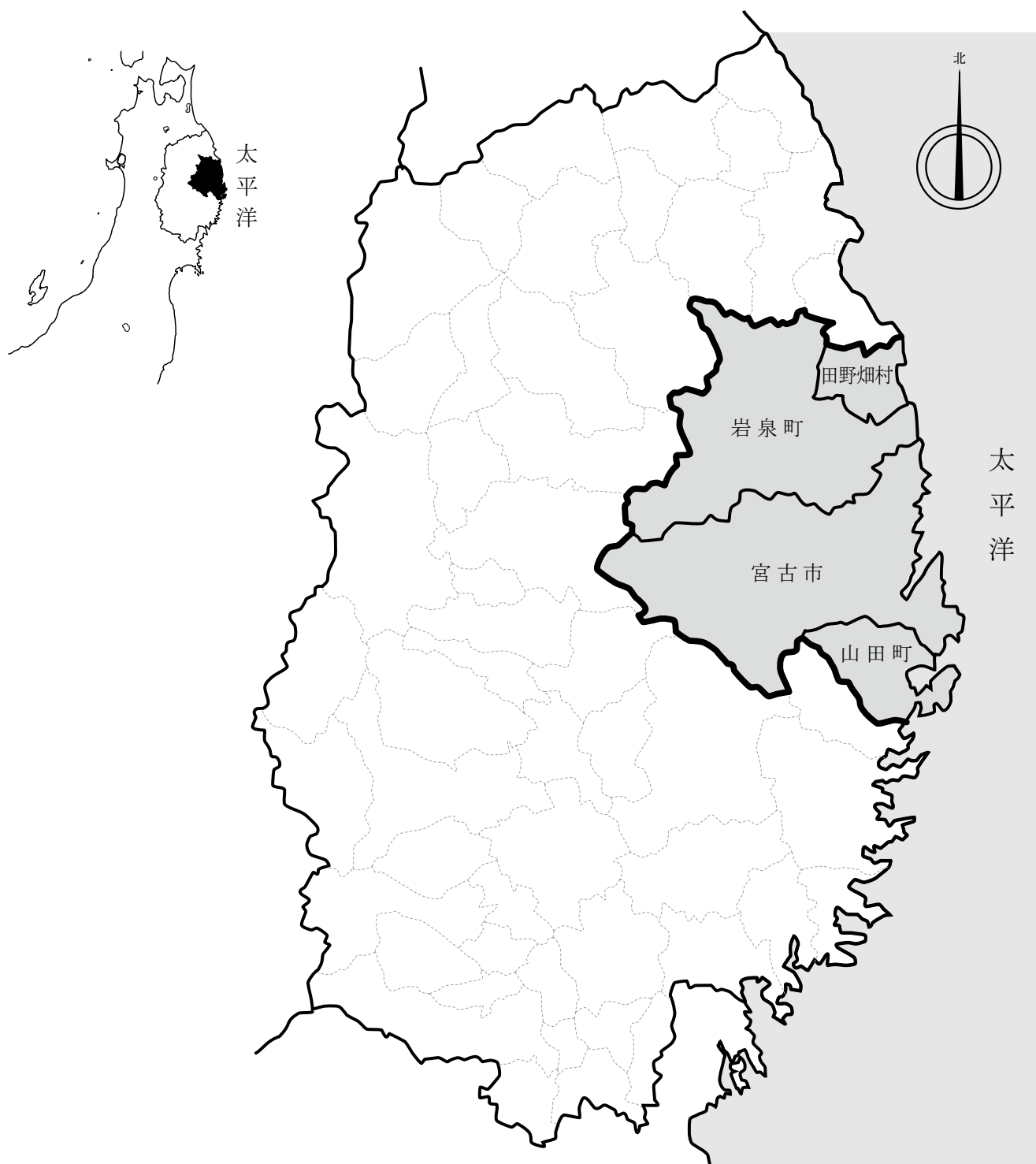
平成 28 年 11 月	救急救命士気管挿管実習認定 1 名
平成 28 年 12 月	1 2 誘導心電図伝送システム運用開始
平成 28 年 12 月	宮古消防署に指導 1 号車更新配置 1 台
平成 29 年 1 月	救急救命士気管挿管実習認定 1 名
平成 29 年 1 月	宮古消防署田野畑分署に水槽付消防ポンプ自動車更新配置 1 台
平成 29 年 2 月	宮古消防署に人員輸送車更新配置 1 台
平成 29 年 2 月	宮古消防署庁舎耐震補強工事竣工
平成 29 年 3 月	山田消防署に小型動力ポンプ付水槽車更新配置 1 台
平成 29 年 3 月	岩泉消防署に救助工作車（Ⅱ型）新規配置 1 台
平成 29 年 4 月	消防本部に「通信指令センター」を設置し、広域管内全ての通信指令業務を専任職員体制により一元化。消防本部の組織改正により指令課を新設し、同課に管理係、指令係、情報係を設置して 3 課 7 係体制とする。
平成 29 年 4 月	救急救命士資格取得 2 名
平成 29 年 8 月	救急救命士気管挿管実習認定 1 名
平成 29 年 10 月	指導救命士認定 3 名
平成 29 年 12 月	山田消防署及び岩泉消防署、宮古消防署田野畑分署の 1 1 9 番通報受付集中化に伴い消防緊急通信指令システム改修工事竣工
平成 29 年 12 月	宮古消防署庁舎 1 階屋上防水改修工事竣工
平成 30 年 1 月	山田消防署新庁舎竣工（災害復旧）
平成 30 年 2 月	宮古消防署車庫排ガス排出システム改修工事竣工
平成 30 年 3 月	宮古消防署に消防ポンプ自動車（CD－Ⅰ型 4WD）更新配置 2 台
平成 30 年 3 月	山田消防署に消防ポンプ自動車（CD－Ⅰ型 4WD）更新配置 1 台
平成 30 年 3 月	山田消防署に高規格救急自動車更新配置 1 台
平成 30 年 4 月	救急救命士資格取得 2 名
平成 30 年 5 月	救急救命士気管挿管実習認定 1 名
平成 30 年 7 月	指導救命士認定 1 名
平成 30 年 8 月	宮古消防署川井分署庁舎屋根塗装修繕
平成 30 年 8 月	宮古消防署田野畑分署に救助用資機材配置
平成 30 年 9 月	空気ボンベ用高圧コンプレッサー新規配置 1 台
平成 30 年 11 月	宮古消防署補助訓練塔改修工事竣工
平成 31 年 1 月	宮古消防署川井分署に高規格救急自動車更新配置 1 台
平成 31 年 2 月	救急救命士気管挿管実習認定 1 名
平成 31 年 3 月	宮古消防署に資機材搬送車更新配置 1 台
平成 31 年 3 月	宮古消防署川井分署に資機材搬送車更新配置 1 台
平成 31 年 3 月	山田消防署に救助工作車（Ⅱ型）更新配置 1 台
平成 31 年 4 月	救急救命士資格取得 2 名
令和 元年 6 月	宮古消防署庁舎外壁修繕
令和 元年 9 月	救急救命士気管挿管実習認定 1 名
令和 元年 9 月	宮古消防署田野畑分署に小型動力ポンプ更新配置 1 台
令和 2 年 2 月	岩泉消防署に消防ポンプ自動車（CD－Ⅰ型 4WD）更新配置 1 台
令和 2 年 3 月	宮古消防署新里分署庁舎移転（宮古市役所新里庁舎）
令和 2 年 3 月	宮古消防署に化学消防ポンプ自動車（Ⅱ型）更新配置 1 台
令和 2 年 3 月	宮古消防署に高規格救急自動車更新配置 1 台
令和 2 年 3 月	山田消防署に水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）更新配置 1 台

宮古地区広域行政組合の機構



宮古広域管内の概況

宮古地区広域行政組合は、宮古市、山田町、岩泉町、田野畑村の1市2町1村で構成され、宮古市に消防本部1、消防署1、分署3（田老地区、新里地区、川井地区）、山田町及び岩泉町に消防署が各1、田野畑村に分署1が設置されています。



Ⅱ 業 務

第1 総 務

1 職 員

(1) 令和2年4月1日現在の現員数は、次のとおりです。

定 員	現員数
253人	201人

(2) 職員の採用状況

令和2年4月1日付け10人採用

2 研 修

令和元年度研修計画に基づき実施した研修は、次のとおりです。

	研 修 区 分	回 数	人 員
派遣研修	消 防 大 学 校	2	2
	岩 手 県 消 防 学 校	9	32
	救急救命東京研修所	2	2
一般職員研修	人 事 事 務 研 修	1	1
	財 務 事 務 研 修	1	1
	契 約 事 務 研 修	1	1
	法 規 事 務 研 修	1	1
	メンタルヘルス研修	1	1
	合 計		41

3 表 彰

令和元年度の職員表彰状況は、次のとおりです。

区 分	人 員
消 防 庁 長 官	永 年 勤 続 功 労 章 1
	※緊急消防援助隊の出動に係る表彰
岩 手 県 知 事	功 績 章 3
管 理 者	功 労 章 0
	勤 続 章 1
	功 績 章 5
全 国 消 防 長 会	消 防 特 別 功 労 表 彰 0
	永年勤続表彰(30年) 1
全国消防長会東北支部	永年勤続表彰(20年) 1
日 本 消 防 協 会	功 績 章 0
	精 績 章 0
	勤 続 章 1
岩 手 県 消 防 協 会	功 労 章 1
	功 績 章 2
	役 員 功 労 1
	内 助 功 労 1
全 国 消 防 協 会	全国優良消防職員表彰 0

第2 予 防

社会の発展とともに建築物及び危険物施設の形態が多種多様化してきたことにより、災害の発生形態も同様に複雑多様化してきています。

このような状況に対応するため当消防本部では、次のような予防業務の施策を重点的に推進し、火災予防の普及に努めています。

- 防火対象物及び危険物施設の査察の徹底
- 消防用設備等の設置推進と維持管理の指導及び防火管理体制の徹底
- 災害弱者の死傷事故防止の徹底
- 山火事防止運動の実施

1 予防査察

防火対象物の消防用設備等の適正な設置、維持管理及び防火管理業務の執行状況等について、「当組合査察規程」に基づき査察を行いました。

令和元年度における査察実施状況は、次のとおりです。

	1号対象物	2号対象物	3号対象物	合 計
査察実施件数	4 5 9	5 8 4	3 6 9	1, 4 1 2
対 象 物 数	7 2 0	2, 0 2 1	4 4 4	3, 1 8 5

2 建築同意

建築物の安全性を高めることを目的として、また、東日本大震災からいち早く復興を遂げるために「建築物の防火に関する規程」の適合性について指導を行いました。事務の実施にあたっては、迅速、的確に処理できる体制の充実に努めています。

令和元年度における建築同意等の事務処理状況は、次のとおりです。

同意（うち住宅等）	計画通知	受理通知	合 計
1 3 1 （5 7）	2 7	3 0 8	4 6 6

3 防火管理

（1）防火管理再講習

規模の大きな防火対象物の防火管理者に対し、複雑多様化する防火対象物や防災設備等の高度化への順応を図るとともに消防法令の改正等の把握など、防火管理業務を適切に実施、又は維持していくための必要な知識、技能の更新を図るため、法令に基づき防火管理再講習を実施しました。

令和元年度における防火管理再講習の実施状況は、次のとおりです。

種 別	実 施 期 間	修了者
甲種防火管理再講習	令和元年6月21日	14人

（2）防火管理の指導

防火管理者の選任義務のある防火対象物の管理権原者に対し、防火管理上必要な業務の実施について積極的な指導を行ない、防火管理業務の適正な執行及び防火安全対策の強化に努めています。

4 防災規制

高層建築物、劇場、遊技場、旅館、病院等不特定多数の者や社会的弱者が利用する防災防火対象物で使用するカーテン、どん帳、展示用合板、じゅうたん等の防災対象物品については、所定の防災性能を有する防災物品を使用するよう指導しています。

令和２年４月１日現在の防災防火対象物における防災対象物品の使用状況は、次のとおりです。

防 災 対 象 物 数	カ ー テ ン 等		じゅうたん等		合 板 等	
	防火対象物 数	左のうち防災対象物品を全部使用しているもの	防火対象物 数	左のうち防災対象物品を全部使用しているもの	防火対象物 数	左のうち防災対象物品を全部使用しているもの
7 2 2	3 2 1	3 1 8	1 4 1	1 4 0	0	0

5 危険物規制

危険物の事故防止のため、危険物施設等に対して施設の位置、構造及び設備並びに危険物の貯蔵、取扱いの技術上の基準の適合と保安体制の確立を図るため立入検査を行っています。

6 消防用設備等の規制

(1) 着工等の届出

消防用設備等は、火災による被害の軽減を図るという消防の目的を達成するため、防火対象物の関係者が一定の基準に従って消防用設備等を設置し、適正に維持管理することが必要であることから、該当対象物について消防用設備等の着工及び設置の届出の徹底を図っています。

令和元年度の着工及び設置の届出状況は、次のとおりです。

種 別	着 工 届	設 置 届
消 火 設 備	6	5 2
警 報 設 備	3 9	8 2
避 難 設 備	6	5 8
消 防 用 水	0	0
消火活動上必要な設備	0	0
合 計	5 1	1 9 2

(2) 消防用設備等の点検結果報告

消防用設備等は、常にその機能を発揮できるよう定期点検の実施と報告が義務づけられていることから、適正な点検の励行と点検結果の報告の徹底について指導しています。

令和元年度の点検結果報告の状況は、次のとおりです。

区 分	点検を要する防火対象物	報 告 済 防 火 対 象 物
特 定 防 火 対 象 物	7 5 5	5 4 1
非 特 定 防 火 対 象 物	2, 0 2 3	1, 1 5 1
合 計	2, 7 7 8	1, 6 9 2

7 防火対象物定期点検報告制度

不特定多数の者が利用する防火対象物のうち一定の規模又は条件に該当するものについては、防火対象物点検資格者が防火対象物点検基準に基づいて点検し、その結果を消防長又は消防署長に報告しなければなりません。

また、優良防火対象物にあっては申請に基づいて点検報告制度の特例を認定した場合に「防火優良認定証」を付することができます。

要点検対象物	点 検 報 告 数	特 例 認 定 数
1 0 5	2 1	7 5

8 防火対象物表示制度

通称「適マーク制度」は、一定規模以上の宿泊施設を対象とし「適マーク」を表示することで、安全・安心な宿泊施設を選択、利用していただくことを目的としています。

関係者からの任意による申請に基づいて、防火安全に関する基準に適合していると認められた場合に「表示マーク（銀）」（有効期間１年間）が交付され、さらに３年間継続して適合していると認められる場合は「表示マーク（金）」（有効期間３年間）が交付されます。

令和元年度までに「表示マーク（金）」を交付された宿泊施設は、８施設です。

なお、「適マーク」の交付を受けた宿泊施設の名称は、当消防本部のホームページで閲覧できます。

9 住宅防火対策

総務省消防庁統計によると住宅火災における死者発生率は、ここ１０年で１.４％の上昇率を示しています。これは住宅火災１００件中、８人の死者が発生していることとなり、１０年前と比較すると約１.５人の増加となっています。近年の住宅火災の傾向として、１件の火災における死者の発生リスクが高くなっている状況が考えられます。

また、火災による死者は、その殆どが住宅火災によるもので、放火自殺者を除いて特に高齢者が犠牲になる割合が極めて高い状況にあります。

今後、更なる高齢化の急進を踏まえ、住宅火災の防止と焼死者をなくするため住宅防火対策の推進が重要であり、特に高齢者世帯については婦人防火クラブ、消防団と協力して防火指導及び住宅用火災警報器の設置促進を図っています。

火災予防条例に基づく住宅用火災警報器は、平成２３年６月１日から義務設置となっていますが、設置年数が経過したものは電池等の劣化により、正常に作動しない可能性が危惧されております。

当消防本部では関係機関との連携を密にし、住宅用火災警報器の定期的な交換を普及啓発しています。

10 自主防災組織

地域において安全を確保する場合、防災関係機関のみならず、住民、事業所等の自主防災組織が一体となった活動を展開し防火防災体制の効果を高める必要があることから、防火クラブを始め地域住民等による自主防災組織の結成及び育成指導を積極的に実施しています。

第３ 警 防

1 消防車両

生活環境の変化に伴い、複雑多様化かつ多岐にわたる各種災害事象に対処するため消防活動の充実強化を重点とし、宮古地区広域行政組合消防施設整備計画に基づき、令和元年度は消防ポンプ車１台、水槽付ポンプ車１台、化学消防ポンプ車１台、高規格救急車１台を更新し、活動体制の強化を図りました。

令和２年４月１日現在の車両の保有状況は次のとおりです。

合計 (台)	消防 ポン プ 車	水 槽 付 ポン プ 車	化 学 消 防 ポン プ 車	消 屈 防 折 は し ご ン プ 車 付	高 規 格 救 急 車	救 助 工 作 車	水 槽 付 小 型 動 力 ポン プ 車	指 揮 車	資 機 材 搬 送 車	指 導 車 等
４８	５	７	１	１	１１	３	２	３	４	１１

2 消防水利

広域管内の消防水利は、消火栓 9 6 6 基、防火水槽 7 7 9 基、これに池・河川・海等を加えると消防水利の総数は、1,809 基となっています。

第4 通 信

1 通信指令施設

当消防本部における消防緊急通信指令施設は、管内市町村の地域特性を考慮し、それぞれの所轄において緊急通報を受理していたところですが、東日本大震災での教訓を踏まえ、複雑多様化、大規模化する近年の各種災害等に効率的な消防部隊の運用を図るため、平成 29 年に指令管制を専任化する組織改編を行い、管内すべての緊急回線を消防本部に集約のうえ指令体制を一元化しました。

施設の主な装置として、緊急通報の受付、出動隊の自動編成、現場活動支援を迅速かつ正確に行う指令台及び自動出動指定装置、通報者の位置情報を取得し災害地点を特定する位置情報通知装置、地図等検索装置等で構成されており、外国人からの緊急通報等に円滑に対応するため、平成 30 年 6 月より多言語通訳業務を民間事業者と委託契約のうえ運用しているところです。

2 ホームページ

平成 13 年に消防本部のホームページ (<http://fire.miyako.iwate.jp/>) を開設し、各種情報の提供を行っています。

第5 火 災

令和元年における総出火件数は 36 件（前年比 11 件増）となっています。

また、火災による死者は 3 人（前年比 4 人減）、負傷者は 7 人（前年比 4 人増）発生しています。

出火率（人口 1 万人あたりの出火件数）は、4.5 件（前年比 1.5 件増）となっています。

第6 救急・救助

1 救急業務の概要

救急業務が昭和 38 年に法制化されたことに伴い、昭和 43 年 10 月からスタートした宮古市消防署救急隊は、昭和 49 年 4 月の広域化とともに構成市町村全域に拡大、現在は 3 署 4 分署に高規格救急車 11 台、救急救命士 56 名（うち気管挿管認定 37 名、薬剤投与認定 41 名）を配置し、増大する救急需要への体制を確保するとともに、関係機関と連携のうえ住民に対する応急手当普及員講習会や普通救命講習等を実施し、バイスタンダー（救急現場に居合わせた人）が応急手当を行うことで、救命率や社会復帰率の向上が図られるよう普及啓発活動を推進しています。

2 救急出場件数

令和元年中の当消防本部出動件数は 3,822 件、搬送人員は 3,507 人となっています。

出動件数は、過去最多件数であった前年の平成 30 年中 4,120 件と比較し 298 件の減少、事故種別ごとに見ると、急病が最も多く全体の約 72% を占め、次いで一般負傷、その他、交通事故の順となっています。

3 緊急消防援助隊

緊急消防援助隊は、平成 7 年 1 月 17 日の阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、国内で発生した地震等の大規模災害時において、人命救助活動等をより効果的かつ迅速に行えるよう、全国の消防機関相互による援助体制を構築することを目的とし、平成 7 年 6 月に創設されました。

その後、平成 15 年 6 月の消防組織法改正により、緊急消防援助隊が法制化され、令和 2 年 4 月 1 日現在、全国で 6,441 隊（重複登録を除く）が登録されており、指揮支援部隊、統合機動部隊、

エネルギー・産業基盤災害即応部隊、都道府県大隊（指揮隊、消火中隊、救助中隊、救急中隊、後方支援中隊等）の多岐にわたる精鋭部隊から構成されます。その内、当消防本部は消火小隊４隊、救助小隊１隊、救急小隊３隊、後方支援小隊１隊の計９隊が消防庁に登録されています。

平成２３年に発生した東日本大震災においては、名古屋市消防局指揮支援部隊が県庁調整本部、横浜市消防局指揮支援隊、秋田県大隊が当消防本部管内で活動しています。また、県内消防相互応援協定に基づき、盛岡地区広域消防組合消防本部が当消防本部管内で活動を行っています。

平成２８年台風１０号災害においては、仙台市消防局指揮支援部隊が県庁調整本部、東京消防庁指揮支援隊、青森県大隊、宮城県大隊、県内消防相互応援隊（県内１０消防本部）が当消防本部管内で活動を行っています。

平成３０年９月６日に発生した北海道胆振東部地震においては、岩手県大隊１８隊６５名のうち、当消防本部から消火小隊、救急小隊、後方支援小隊の３隊１０名を北海道厚真町へ派遣し、行方不明者の捜索及び救急搬送等の活動を行っています。

４ 防災ヘリコプター・ドクターヘリによる救急搬送

岩手県では航空消防体制の整備を目的として、平成８年３月に防災ヘリコプター「ひめかみ」を導入し、平成８年１０月１日から運航を開始しました。以来、広大な面積を保有する本県の「空からの消防防災活動」に活躍しています。防災ヘリコプターは救急活動のほか、災害防御活動、救助活動、広域航空消防応援活動、災害予防活動等を行っています。

当消防本部管内で発生した令和元年中の防災ヘリコプター等による救急搬送件数は２件（前年比１件増）となっています。

また、平成２４年５月８日からは岩手県ドクターヘリが運航を開始しました。ドクターヘリは、専門の医療機器などを搭載し、医師や看護師が搭乗、救急現場から傷病者を治療しながら迅速に医療機関まで搬送します。

当消防本部管内で発生した令和元年中のドクターヘリによる救急搬送件数は３８件（前年比６件減）となっています。

５ 救助活動状況

消防機関の行う救助活動は、沿革的には火災時における人命救助を原点としています。

現在は経済、社会活動の変化及び高規格道路の整備に伴い交通事故や労働災害、爆発事故、水難事故など複雑・特異化した災害に及んでいます。

当消防本部では、宮古消防署、山田消防署及び岩泉消防署に救助工作車を、他の署々には初動活動に必要な油圧救助器具などを配置しています。

令和元年中の出動件数は４８件（前年比５件減）で交通事故が２１件（４４％）を占めており、救助人員は２３人となっています。

Ⅲ 総 務

過去5ヵ年歳入歳出決算額の推移

1. 歳入合計

(単位：千円)

区 分	平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度			令和元年度		
	決算額	決算額 構成比	対前年 増減率	決算額	決算額 構成比	対前年 増減率	決算額	決算額 構成比	対前年 増減率	決算額	決算額 構成比	対前年 増減率	決算額	決算額 構成比	対前年 増減率
分担金及び金	2,055,224	94.7	25.5	1,937,632	82.4	△5.7	1,855,102	76.0	△4.3	1,861,396	97.6	0.3	1,950,125	97.3	4.8
負担金															
使用料及び料	1,021	0.0	△37.0	1,468	0.1	43.8	1,336	0.1	△9.0	1,189	0.1	△11.0	739	0.0	△37.8
手数料															
国庫支出金	69,820	3.2		42,894	1.8	△38.6	407,292	16.7	849.5	0	0.0	△100.0	24,244	1.2	
県支出金	7,439	0.3	9.6	17,208	0.7	131.3	18,467	0.8	7.3	9,300	0.5	△49.6	9,427	0.5	1.4
財産収入	255	0.0	△49.8			△100.0	2,242	0.1		3,000	0.2	33.8	3,629	0.2	21.0
寄付金															
繰越金	35,371	1.6	△32.0	353,139	15.0	898.4	105,202	4.3	△70.2	20,762	1.1	△80.3	14,527	0.7	△30.0
諸収入	160	0.0	81.8	563	0.0	251.9	50,107	2.1	8800.0	11,152	0.6	△77.7	576	0.0	△94.8
組合債			△100.0												
歳入合計	2,169,290	100	27.2	2,352,904	100	8.5	2,439,748	100	3.7	1,906,799	100	△21.8	2,003,267	100	5.1

2. 歳出合計

(単位：千円)

区 分	平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度			令和元年度		
	決算額	決算額 構成比	対前年 増減率	決算額	決算額 構成比	対前年 増減率	決算額	決算額 構成比	対前年 増減率	決算額	決算額 構成比	対前年 増減率	決算額	決算額 構成比	対前年 増減率
消費防費	1,782,826	98.2	10.2	2,238,294	99.6	25.5	2,234,104	99.6	△0.2	1,883,272	99.5	△15.7	1,969,034	99.9	4.6
公債費	33,325	1.8	△36.2	9,408	0.4	△71.8	9,028	0.4	△4.0	9,000	0.5	△0.3	1,503	0.1	△83.3
歳出合計	1,816,151	100	8.8	2,247,702	100	23.8	2,243,132	100	△0.2	1,892,272	100	△15.6	1,970,537	100	4.1

令和２年度宮古地区広域行政組合(消防分)当初予算

歳 入

(単位：千円)

款	本 年 度		前 年 度		比 較
	予 算 額	構成比	予 算 額	構成比	
分 担 金 及 び 負 担 金	1,986,986	97.6	1,982,074	99.0	4,912
使 用 料 及 び 手 数 料	1,005	0.1	1,005	0.1	0
国 庫 支 出 金	37,500	1.8	8,900	0.4	28,600
県 支 出 金	9,602	0.5	9,355	0.5	247
財 産 収 入					
繰 越 金					
諸 収 入	1		1		0
組 合 債					
合 計	2,035,094	100	2,001,335	100	33,759

歳 出

(単位：千円)

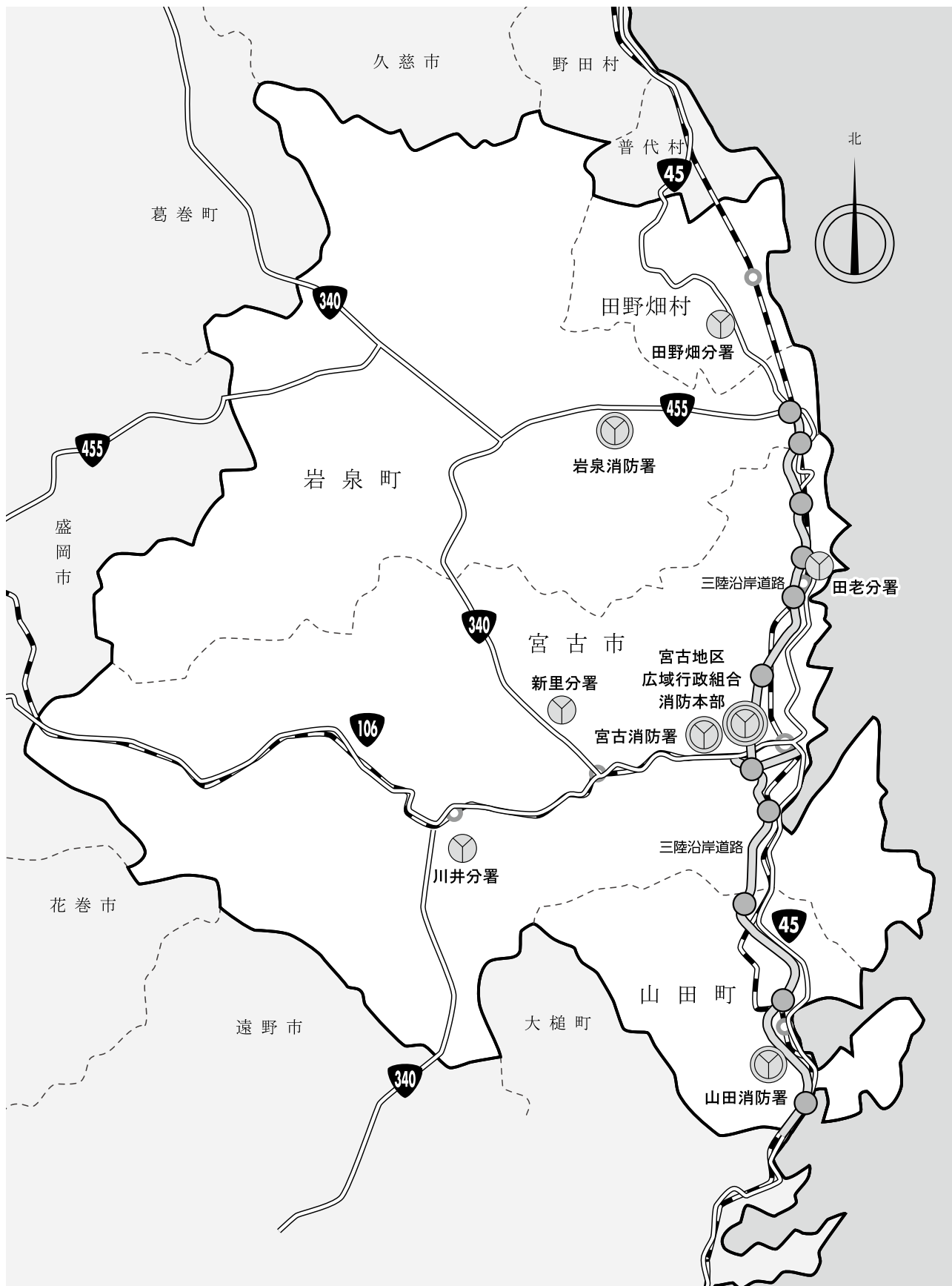
款	本 年 度		前 年 度		比 較	本年度の財源内訳			
						特 定 財 源			一般財源
	予算額	構成比	予算額	構成比		国 庫 及び県 支出金	地方債	その他	
消 防 費	2,035,093	99.9	1,999,831	99.9	35,262	47,102			1,987,991
災害復旧費	1	0.1	1		0				1
公 債 費			1,503	0.1	△1,503				
合 計	2,035,094	100	2,001,335	100	33,759	47,102			1,987,992

広 域 管 内 状 況

令和2年4月1日現在

署 別 区 分		総 数	消 防 本 部	宮 古 消 防 署	田 老 分 署	田 野 畑 分 署	新 里 分 署	川 井 分 署	山 田 消 防 署	岩 泉 消 防 署
人 口		78,630		43,462	2,944	3,264	2,518	2,226	15,229	8,987
世 帯 数		35,816		19,944	1,295	1,400	1,097	1,151	6,563	4,366
面 積 (km ²)		2,671.25		339.48	101.05	156.19	256.29	563.07	262.81	992.36
密 度 (1km ² 当り)	人 口	29.4		128.0	29.1	20.9	9.8	4.0	57.9	9.1
	世帯数	13		58.7	12.8	9.0	4.3	2.0	25.0	4.4
消 防 吏 員 数		201	35	51	13	16	13	17	28	28
消 防 ポ ン プ 自 動 車 台 数		16		7	1	1	1	1	3	2
消 防 吏 員 1 人 当 り		人 口 391.2人			世帯数 178.2世帯			面 積 13.3km ²		

消防本部及び消防署所の配置図



消防庁舎施設状況

令和2年4月1日現在

1. 消防本部・宮古消防署



所在地:宮古市五月町2番1号

建築年月:昭和56年10月

敷地面積:11,900.23m²

主な施設

構造:鉄筋コンクリート3階建

庁舎面積:2,899.61m²

- ・訓練塔(地上6階高さ28m)及び補助訓練塔
- ・自家用給油所(ガソリン・軽油)
- ・ヘリポート(訓練場兼用)

○通信指令センター



2. 宮古消防署田老分署



所 在 地:宮古市田老三王一丁目1番2号

建 築 年 月:平成28年3月

敷 地 面 積:2,150.79m²

構 造:鉄骨造平屋建

庁舎面積:400.10m²

3. 宮古消防署田野畑分署(田野畑村中央防災センター)



所 在 地:下閉伊郡田野畑村菅窪43番地4

建 築 年 月:平成26年12月

敷 地 面 積:2,321.55m²

構 造:鉄骨造2階建

庁舎面積:736.14m²

4. 宮古消防署新里分署(宮古市役所新里庁舎)



所 在 地:宮古市茂市第2地割112番地1

建 築 年 月:昭和56年8月

敷 地 面 積:8,336.74m²

供 用 開 始:令和2年3月

(新里庁舎2階及び車庫棟の一部)

構 造:鉄筋コンクリート3階建(庁舎棟)

:鉄骨造平屋建(車庫棟)

供用面積:庁舎棟(325.78m²)

車庫棟(234.0m²)

5. 宮古消防署川井分署



所 在 地:宮古市川井第5地割102番地1

建 築 年 月:平成15年3月

敷 地 面 積:1,754.68m²

構 造:鉄筋コンクリート2階建

庁舎面積:699.67m²

6. 山田消防署



所 在 地: 下閉伊郡山田町飯岡第1地割21番地4

建 築 年 月: 平成30年2月

構 造: 鉄筋コンクリート2階建

敷 地 面 積: 6,705.77m²

庁舎面積: 1406.56m²

主 な 施 設

・訓練塔(地上6階高さ19.3m)及び補助訓練塔

7. 岩泉消防署



所 在 地: 下閉伊郡岩泉町岩泉字中野40番地50

建 築 年 月: 昭和50年3月

構 造: 鉄骨モルタル2階建

敷 地 面 積: 989.53m²

庁舎面積: 888.55m²

そ の 他: 平成3年3月(全面増改築) 平成9年3月(待機室増築)

平成10年3月(通信指令室増改築)

平成25年7月(全面増改築) 増築面積: 362.47m²

職 員 の 配 置 状 況

令和2年4月1日現在

階 級 所 属	合 計	階 級							
		消防正監	消防監	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士
合 計	201	1	2	9	11	55	26	20	77
消 防 本 部	35	1	2	3	5	8	3	3	10
宮古消防署	51			2	1	8	13	3	24
田老分署	13			0	1	5	1	2	4
田野畑分署	16			0	1	5	1	2	7
新里分署	13			0	1	5	1	2	4
川井分署	17			0	1	5	1	2	8
山田消防署	28			2	1	9	3	3	10
岩泉消防署	28			2	0	10	3	3	10

岩手県消防学校教育派遣状況

平成31年4月1日～令和2年3月31日

教 育 所 属	合 計	初 任 教 育	幹部教育		専 科 教 育					特別教育	
			上 級	初中級	警 防	予 防 総 合	火 災 調 査	救助科	救急科	無 線 通 信	女性活 躍推進
合 計	32	9	2	3	0	3	2	3	7	1	2
消 防 本 部	12	9	1	1			1				
宮古消防署	6					1		1	3		1
田老分署	0										
田野畑分署	2					1	1				
新里分署	0										
川井分署	2		1	1							
山田消防署	6			1				1	2	1	1
岩泉消防署	4					1		1	2		

消防大学校及び救急救命士教育派遣状況

平成31年4月1日～令和2年3月31日

教 育 所 属	合 計	消防大学校			東 京 研 修 所	九 州 研 修 所	高度救 命救急 センター	岩手 医大	県立病院		
		総合教育		専 科	養 成	指 導	就業前	気管挿管	就業前	就業中	気管挿管
		上級幹部科	幹部科	教 育	研 修	救命士	研 修	新規養成	研 修	再教育	再教育
合 計	38	0	1	1	2	0	3	2	3	18	8
消 防 本 部	0										
宮古消防署	13		1	1	2		2	1	2	3	1
田老分署	3									2	1
田野畑分署	3									3	
新里分署	3									2	1
川井分署	3										3
山田消防署	7						1	1	1	3	1
岩泉消防署	6									5	1

階 級 別 年 齢

令和 2 年 4 月 1 日現在

階 級 年 齢	合 計	消 防 吏 員							
		消防正監	消防監	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士
計	201	1	2	9	11	55	26	20	77
20歳未満	10								10
20～25歳未満	40								40
25～30歳未満	26							1	25
30～35歳未満	30						9	19	2
35～40歳未満	20					5	15		
40～45歳未満	23					23			
45～50歳未満	23				3	19	1		
50～55歳未満	17		1	5	5	6			
55歳以上	12	1	1	4	3	2	1		
平均年齢	35.0	56.0	55.5	54.6	51.3	44.8	41.9	30.7	23.3

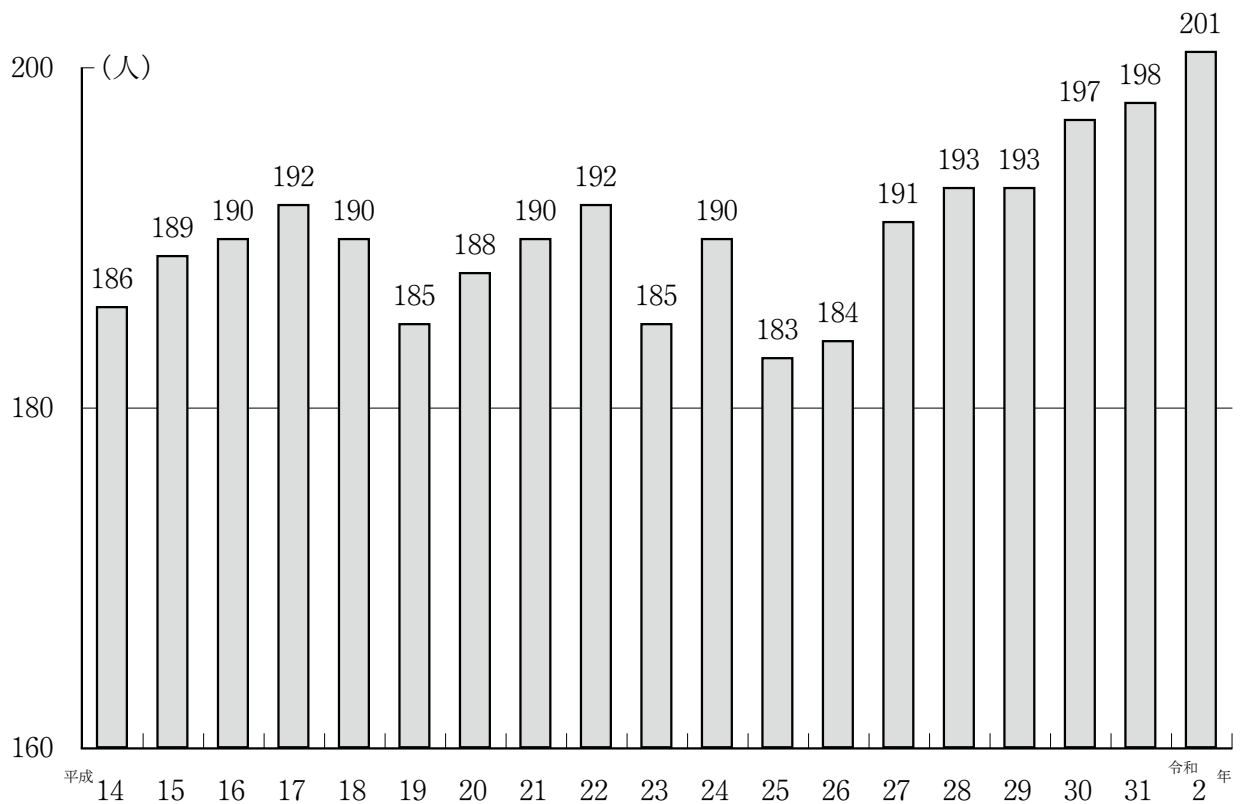
勤 続 年 数

令和 2 年 4 月 1 日現在

階 級 年 齢	計	消 防 吏 員							
		消防正監	消防監	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士
計	201	1	2	9	11	55	26	20	77
1 年未満	10								10
1 ～ 5 年未満	33								33
5 ～10年未満	36							6	30
10～15年未満	27						9	14	4
15～20年未満	22					7	15		
20～25年未満	17					17			
25～30年未満	31				5	25	1		
30～35年未満	7			2	2	3			
35年以上	18	1	2	7	4	3	1		
平均年数	15.6	38.0	37.5	36.2	28.5	25.3	16.4	10.5	4.1

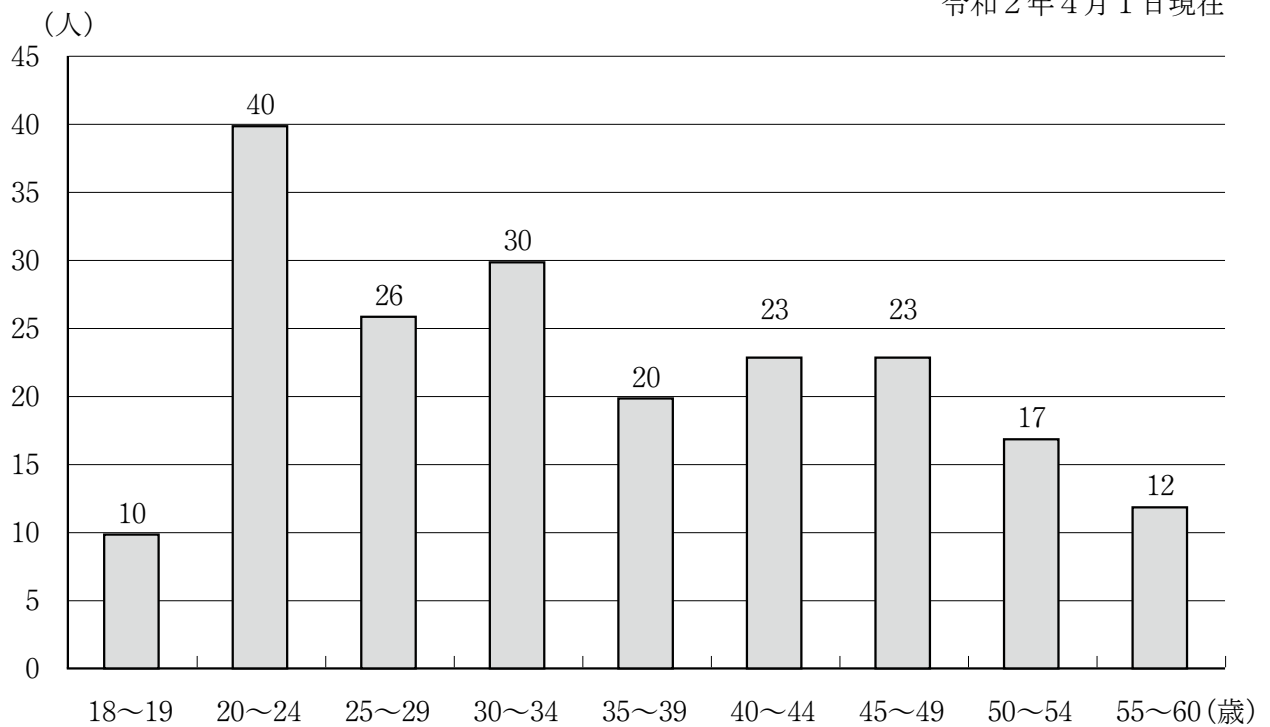
年度別消防職員数の推移

令和2年4月1日現在



職員の年齢構成

令和2年4月1日現在



消防職員技術資格取得状況（総括）

令和2年4月1日現在

階級別 免許等の区別		消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
自動車関係	大型自動車（第1種）	1	1	8	10	55	17	9	13	114
	大型特殊自動車			2	1	3	1	1		8
	大型けん引					2	1	1		4
	中型自動車						11	13	10	34
	準中型自動車						1	1	8	10
	普通自動車（第1種）	1	2	9	11	55	26	20	77	201
	自動二輪車		1	6	6	19	8	2	10	52
救助関係	安全運転管理者			2	1					3
	救助課程	1	1	7	9	32	20	7	3	80
	玉掛技能	1	1	7	7	42	20	8	4	90
	移動式クレーン	1	1	6	6	44	19	9	7	93
	ガス溶接技能	1	2	8	7	34	15	9	2	78
	小型船舶操縦士			4	2	11	3	2	6	28
	赤十字水上安全法指導員			1			1			2
	赤十字水上安全法救助員Ⅰ			1		2	4			7
	赤十字水上安全法救助員Ⅱ			1		2				3
救急関係	レスキュー3テクニカルロープレスキュー				1	2	7	1	2	13
	救急救命士			4	8	24	11	5	2	54
	指導救急救命士					4				4
	救急資格者（Ⅱ課程）	1	2	5	1	3	1			13
	救急標準課程			4	9	52	23	18	27	133
	応急手当指導員	1	2	9	11	55	26	20	27	151
関係通信	A E D 指導員講習	1		4	4	21	1			31
	特殊無線技士（海上）			1						1
	特殊無線技士（陸上）		1	5	9	46	19	20	67	167
関係危険物	アマチュア無線技士					7	2			9
	危険物取扱者（乙）	1	1	4		10	8	6	20	50
	危険物取扱者（丙）			1	1	8	1	3		14
	毒物劇物取扱者						3			3
技術予防	火薬類取扱主任者									
	防火査察				1	11	4	3	2	21
	消防用設備等	1				4	3		1	9
消防・建築・設備関係等	危険物					1	2	1		4
	消防設備士（甲）	1				2	2			5
	消防設備士（乙）	1	2	3	1	5	5	1		18
その他	電気工事士（2種）			1		2	1	1	2	7
	衛生管理者	1	1	2		2				6
	プール衛生管理者			1	2					3
	ボイラー技士					1				1
	潜水士			2		2	4	2	1	11
	スキューバーダイビングC級			1		1		1		3
	アーク溶接技能					2		2	1	5
	アセチレンガス溶接士			1	1					2
	車両系建設機械運転技能			1				1		2
	J P T E C インストラクター					1				1
	A H A ・ B L S インストラクター					2				2
	J P T E C プロバイダー					9	9	2	1	21

IV 予 防

防 火 対 象 物 の 現 況

令和2年4月1日現在

市町村名 用 途			政 令 防 火 対 象 物 数				
			計	宮 古 市	山 田 町	岩 泉 町	田 野 畑 村
合 計			2,741	1,809	410	329	193
(1)	イ	劇 場 等	8	6	1	1	
	ロ	公 会 堂 等	141	78	22	26	15
(2)	イ	キ ャ バ レ ー 等					
	ロ	遊 技 場 等	6	4	1	1	
	ハ	性 風 俗 店 舗 等					
	ニ	カラオケボックス等					
(3)	イ	料 理 店 等	1	1			
	ロ	飲 食 店 等	42	32	5	2	3
(4)		百 貨 店 等	112	77	20	13	2
(5)	イ	旅 館 等	60	33	10	12	5
	ロ	共 同 住 宅 等	550	455	61	27	7
(6)	イ	病 院 等	43	34	4	4	1
	ロ	老 人 福 祉 施 設 等	49	32	8	6	3
	ハ	老人デイサービスセンター等	81	54	10	13	4
	ニ	幼 稚 園 等	6	4	2		
(7)		学 校	84	57	13	12	2
(8)		図 書 館 等	11	5	2	3	1
(9)	イ	特 殊 浴 場					
	ロ	一 般 浴 場	5	5			
(10)		停 車 場	3	1			2
(11)		神 社 寺 院 等	44	29	6	8	1
(12)	イ	工 場 等	450	256	111	56	27
	ロ	テレビスタジオ等					
(13)	イ	駐 車 場 等	30	15	4	8	3
	ロ	航 空 機 格 納 庫					
(14)		倉 庫	255	178	33	29	15
(15)		事 務 所 等	492	255	72	71	94
(16)	イ	特 定 複 合 用 途	171	126	16	25	4
	ロ	非 特 定 複 合 用 途	97	72	9	12	4
(17)		文 化 財					
(18)		ア ー ケ ー ド					

消防用設備等設置状況

令和2年4月1日現在

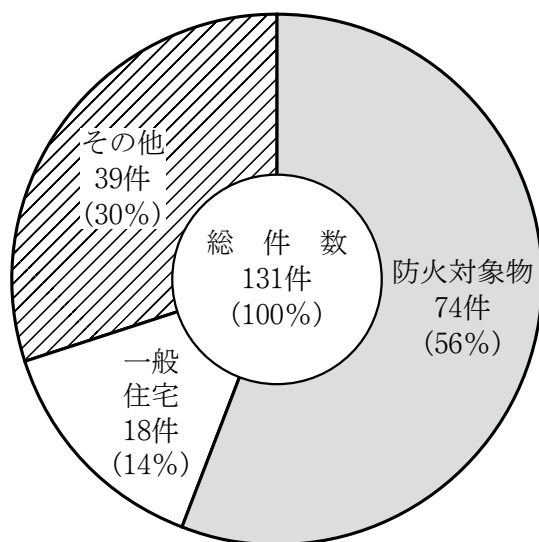
消防用 設備等 用 途	消 火 設 備					警 報 設 備			避 難 設 備		消 防 用 水	・ 連 散 結 水 送 設 水 備 管	排 煙 設 備
	屋 内 消 火 栓	設 ス プ リ ン ク ラ ー 備	消 水 火 設 噴 備 等 霧	屋 外 消 火 栓	動 力 消 防 ポ ン プ	設 自 動 火 災 報 備 知	漏 電 火 災 警 報 器	非 常 警 報 設 備	避 難 器 具	誘 導 灯			
合 計	216	74	9	13	12	1,014	49	293	167	924	1	15	2
(1)	イ	1	1			5		4		8			
	ロ	9	1			56	7	101	10	126			1
(2)	イ												
	ロ					6		5	1	6			
	ハ												
	ニ					1				1			
(3)	イ					1			1	1			
	ロ					15	1	19	5	49			
(4)		11	4	3		71	2	23	2	114		1	
(5)	イ	14	3			85	9	8	10	70		5	
	ロ	4				75	7	8	61	8		1	
(6)	イ	3	12	1		29	1	6	11	42		1	
	ロ	13	47			49		6	6	48			
	ハ	2				63	10	2	3	81			
	ニ	1				6	1		2	6			
(7)		61			1	79		3	15	42			
(8)		1				9		3		4			
(9)	イ												
	ロ					1	3			3			
(10)										1			
(11)		1				5	3	23		6			
(12)	イ	41		1	10	6	190		4		36	1	
	ロ												
(13)	イ			2			11			1			
	ロ												
(14)		10				6	59			10			
(15)		29		1	1		75	1	36	10	76		3
(16)	イ	12	6	1	1		112	3	32	26	168		4
	ロ	3					11	1	10	4	17		1
(17)													
(18)													

用途別建築同意処理状況

平成31年4月1日～令和2年3月31日

市町村別 用 途			計	宮 古 市	山 田 町	岩 泉 町	田 野 畑 村
合 計			131	62	49	15	5
(1)	イ	劇 場 等					
	ロ	公 会 堂 等	3		2	1	
(2)	イ	キ ャ バ レ ー 等					
	ロ	遊 技 場 等					
	ハ	性風俗関連店舗					
	ニ	カラオケボックス等	1		1		
(3)	イ	料 理 店 等					
	ロ	飲 食 店 等	1		1		
(4)		百 貨 店 等	3	2	1		
(5)	イ	旅 館 等	1		1		
	ロ	共 同 住 宅 等	4		2	2	
(6)	イ	病 院 等	2		1	1	
	ロ	老人短期入所施設等	1		1		
	ハ	老人デイサービスセンター等	1	1			
	ニ	幼 稚 園 等					
(7)		学 校	2		2		
(8)		図 書 館 等					
(9)	イ	特 殊 浴 場					
	ロ	一 般 浴 場					
(10)		停 車 場					
(11)		神 社 寺 院 等	1		1		
(12)	イ	工 場 等	7	2	4	1	
	ロ	テレビスタジオ等					
(13)	イ	駐 車 場 等	1				1
	ロ	航 空 機 格 納 庫					
(14)		倉 庫	14	8	4	2	
(15)		事 務 所 等	25	17	6	1	1
(16)	イ	特 定 複 合 用 途	5	2	1	1	1
	ロ	非 特 定 複 合 用 途	2		2		
専 用 住 宅			18	13	3		2
そ の 他			39	17	16	6	

用途別建築同意件数



過去5年間の建築同意の推移

別市町村名 \ 年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
合 計	359件	339件	284件	258件	131件
宮 古 市	213	207	149	100	62
山 田 町	81	74	80	83	49
岩 泉 町	32	46	47	57	15
田 野 畑 村	33	12	8	18	5

危険物施設の現況

令和2年4月1日現在

市町村別	製造所等の別	合 計	製 造 所	貯蔵所							取扱所						
				小 計	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タンク貯蔵所	屋 内 タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所
合計		444		310	32	42	2	104		120	10	134	73	1			60
宮古市		275		198	22	27	2	67		77	3	77	37	1			39
山田町		60		37	4	7		11		11	4	23	13				10
岩泉町		77		51	5	6		18		20	2	26	17				9
田野畑村		32		24	1	2		8		12	1	8	6				2

危険物施設の査察実施状況

年度別	製造所等の別	合 計	製 造 所	貯蔵所							取扱所						
				小 計	屋内 貯蔵所	屋外タンク 貯蔵所	屋内タンク 貯蔵所	地下タンク 貯蔵所	簡易タンク 貯蔵所	移動タンク 貯蔵所	屋外貯蔵 所	小 計	給油取扱 所	第一種販売 取扱所	第二種販売 取扱所	移送取扱 所	一般取扱 所
令和元年度		369		272	27	27		69		145	4	97	62				35
平成30年度		379		274	25	29		63		152	5	105	65				40

危険物関係事務処理状況

区分	合計	申請								届出				
		小計	設置許可申請	設置完成検査申請	変更許可申請	変更完成検査申請	タンク検査申請	仮使用承認申請	仮貯蔵（取扱）承認申請	小計	保安監督者選任	保安監督者解任	廃止届	譲渡引渡届
令和元年度	96	45	8	6	10	10	1	3	7	51	14	14	20	3
平成30年度	144	73	16	19	14	14		4	6	71	26	21	21	3

危険物関係手数料徴収状況

単位：円

区分	令和元年度		平成30年度	
	件数	金額	件数	金額
合計	50件	732,500	73件	1,182,000
設置許可	8	247,000	16	430,000
変更許可	10	195,000	14	283,000
タンク検査	1	6,000		
設置完成	6	78,000	19	273,500
変更完成	10	97,500	14	141,500
仮貯蔵（承認）	7	37,800	6	32,400
仮使用（承認）	3	16,200	4	21,600
完成検査前検査	5	55,000		

V 警 防

管内消防力の現況

区 分			単位	令和2年4月 1日現在(a)	平成31年4月 1日現在(b)	(a)-(b)
消防職員・団員	消防本部・署	消防本部	本部	1	1	0
		消防署	署	3	3	0
		消防署	分署	4	4	0
		消防職員(条例定数)		253	253	0
		消防吏員(実員)	人	201	198	3
		その他の職員		0	0	0
	消防団	消防団	団	4	4	0
		消防分団	分団	70	70	0
		消防団員(条例定数)	人	2,847	2,847	0
		消防団員(実員)		2,130	2,154	△ 24
消防車両	消防本部・署	消防ポンプ自動車	台	5	5	0
		水槽付消防ポンプ自動車		7	7	0
		小型動力ポンプ付水槽車		2	2	0
		化学消防ポンプ自動車		1	1	0
		屈折はしご付消防ポンプ自動車(20m級)		1	1	0
		救助工作車		3	3	0
		小型動力ポンプ車		6	6	0
		高規格救急車		11	11	0
		指揮車		3	3	0
		赤バイ		1	1	0
		指導車・指令車		8	8	0
		資機材搬送車		4	4	0
		広報車		2	2	0
		人員輸送車		1	1	0
	消防団	消防ポンプ車	台	81	81	0
		小型動力ポンプ車		67	67	0
		小型動力ポンプ積載車		56	56	0
		指揮車		9	9	0
消防水利		消防水利	基	1,809	1,797	12
		消防火栓		966	962	4
		消防火水槽		779	770	9
		うち耐震水槽		189	178	11
		その他の水利		64	65	△ 1

署別消防車両等配置状況

令和2年4月1日現在

区 分 署・分署別	合 計	消 防 ポン プ 車	水 槽 付 ポン プ 車	化 学 消 防 ポン プ 車	消 屈 防 折 ポン プ 車	高 規 格 救 急 車	救 助 工 作 車	水 小 型 動 力 ポン プ 車	指 揮 車	資 機 材 搬 送 車	指 導 令 車	指 導 車	広 報 車	人 員 輸 送 車	業 務 車	連 絡 車	赤 バ イ
合 計	51	5	7	1	1	11	3	2	3	4	8	2	1	1	1	1	
消 防 本 部 宮古消防署	20	3	1	1	1	3	1	1	1	1	2	2	1	1	1		
山田消防署	9	1	1			2	1	1	1	1	1						
岩泉消防署	9	1	1			2	1		1	1	1						1
田 老 分 署	3		1			1					1						
田野畑分署	3		1			1					1						
新 里 分 署	3		1			1					1						
川 井 分 署	4		1			1				1	1						

署別主力機械の現況

令和2年4月1日現在

区分 署・分署別	種別及び呼称	車名等	年式	ポンプ 製作会社	ポンプ形式	級別	備 考
消 防 本 部 宮古消防署	指令車★	トヨタ	H27				
	消防ポンプ1号車★	日野	H26	日本機械	2段タービン	A-2	電動式乗用ホースレイヤー積載
	消防ポンプ2号車★	日野	H30	日本機械	2段タービン	A-2	電動式乗用ホースレイヤー積載【緊】
	消防ポンプ3号車★	日野	H30	日本機械	2段タービン	A-2	電動式乗用ホースレイヤー積載【緊】
	水槽付消防ポンプ車★	日野	H23	日本機械	2段タービン	A-2	水 2,000ℓ
	化学消防ポンプ車★	日野	R1	日本機械	2段タービン	A-2	水1,500ℓ 薬剤500ℓ
	屈折はしご付消防ポンプ車	日野	H14	日本機械	2段タービン	A-2	20m級
	小型動力ポンプ付水槽車	いすゞ	H22	トーハツ	1段タービン	B-2	水 9,000ℓ
	救助工作車★	いすゞ	H16				Ⅱ型【緊】
	救急1号車★	トヨタ	R1				高規格救急車
	救急2号車★	トヨタ	H23				高規格救急車 名古屋市寄贈
	救急3号車★	トヨタ	H25				高規格救急車【緊】
	資機材搬送車★	いすゞ	H31				パワーゲート・幌掛装置付【緊】
	指揮車★	トヨタ	H24				
	指導車★	トヨタ	H28				
	広報車★	ニッサン	H21				
	査察広報車★	トヨタ	H12				全国消防長会より寄贈(東京消防庁)
	業務車★	トヨタ	H22				ハイブリッド車
	人員輸送車	トヨタ	H29				29人乗り
	連絡車★	ホンダ	H30				(株)オノデラサイン寄贈軽自動車
山田消防署	消防ポンプ車★	日野	H30	日本機械	2段タービン	A-2	電動式乗用ホースレイヤー積載
	水槽付消防ポンプ車★	日野	R1	日本機械	2段タービン	A-2	水 2,000ℓ【緊】
	小型動力ポンプ付水槽車	日野	H29	トーハツ	1段タービン	B-2	水 9,000ℓ
	救助工作車★	日野	H31				Ⅱ型
	救急1号車★	トヨタ	H26				高規格救急車
	救急2号車★	トヨタ	H30				高規格救急車【緊】
	資機材搬送車★	いすゞ	H24				パワーゲート付
	指揮車★	トヨタ	H24				
	指導車★	ニッサン	H24				
岩泉消防署	小型動力ポンプ	トーハツ	H24	トーハツ	1段タービン	B-3	4サイクル
	消防ポンプ車★	日野	R1	日本機械	2段タービン	A-2	電動式ホースレイヤー積載【緊】
	水槽付消防ポンプ車★	日野	H20	日本機械	2段タービン	A-2	水 2,000ℓ
	救助工作車★	日野	H29				Ⅱ型
	救急1号車★	トヨタ	H20				高規格救急車
	救急2号車★	トヨタ	H27				高規格救急車【緊】
	資機材搬送車★	いすゞ	H26				パワーゲート付
	指導車★	マツダ	H22				
	指揮車★	トヨタ	H28				
田 老 分 署	赤バイ	ホンダ	H6				
	小型動力ポンプ	トーハツ	H22	トーハツ	1段タービン	B-3	4サイクル
	水槽付消防ポンプ車★	いすゞ	H24	日本機械	2段タービン	A-2	水 2,000ℓ
	救急車★	トヨタ	H24				高規格救急車
	指導車★	マツダ	H24				
	小型動力ポンプ	トーハツ	H23	トーハツ	1段タービン	B-3	4サイクル
田野畑分署	水槽付消防ポンプ車★	日野	H29	日本機械	2段タービン	A-2	水 2,000ℓ
	救急車★	トヨタ	H23				高規格救急車
	指導車★	マツダ	H23				
	小型動力ポンプ	トーハツ	R1	トーハツ	1段タービン	B-3	4サイクル
新 里 分 署	水槽付消防ポンプ車★	日野	H23	日本機械	2段タービン	A-2	水 2,000ℓ
	救急車★	トヨタ	H22				高規格救急車
	指導車★	マツダ	H26				
	小型動力ポンプ	トーハツ	H18	トーハツ	1段タービン	B-3	4サイクル
川 井 分 署	水槽付消防ポンプ車★	日野	H17	日本機械	2段タービン	A-2	水 2,000ℓ
	救急車★	トヨタ	H31				高規格救急車
	指導車★	マツダ	H22				
	資機材搬送車★	いすゞ	H31				
	小型動力ポンプ	トーハツ	H23	トーハツ	1段タービン	B-3	4サイクル

★印は、4輪駆動車を【緊】印は、緊急消防援助隊登録車両を表す。

市町村別消防水利の現況

令和2年4月1日現在

市町村別 区分		合計	宮古市	山田町	岩泉町	田野畑村
合計(A) + (B) + (C)		1,809	1,024	313	346	126
消 火 栓	小 計(A)	966	577	183	162	44
	公 設	966	577	183	162	44
	私 設					
防 火 水 槽	小 計(B)	779	406	119	172	82
	公 設	779	406	119	172	82
	うち耐震水槽	189	80	38	16	55
	私 設					
そ の 他	小 計(C)	64	41	11	12	
	河 川 ・ 溝 等	7	7			
	海 ・ 湖	10	10			
	プ ー ル	41	19	11	11	
	濠 ・ 池 等	1			1	
	下 水 道					
	井 戸	5	5			
	そ の 他					
水 利	基 準 数	1,846	1,008	321	351	166
	※ 現 有 数	1,557	845	268	332	112
	充 足 率	84.3%	83.8%	83.5%	94.6%	67.5%

※「現有数」は、基準数を基に算出した水利の数であり、現況とは異なる値となっている。

VI 通 信

通 信 施 設 配 置 状 況

令和2年4月1日現在

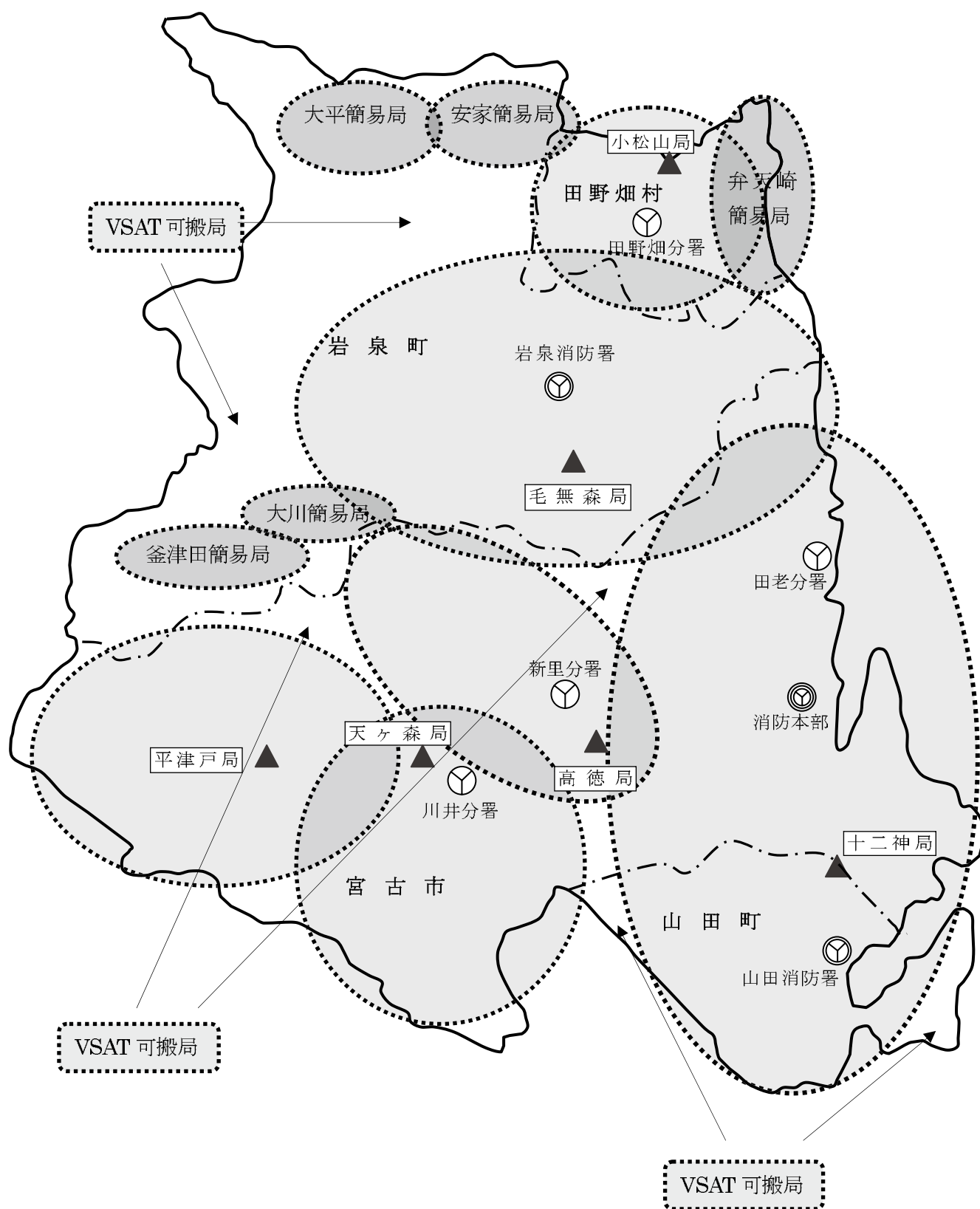
デ ジ タ ル 無 線 通 信 施 設	区 分	計	配 置 場 所							
	固定多重無線局	2	宮古消防署、十二神							
	基 地 局	6	十二神、高德、天ヶ森、平津戸、小松山、毛無森							
	簡 易 基 地 局	5	釜津田、大川、安家、太平、弁天崎							
			消 防 部	宮 古 消防署	山 田 消防署	岩 泉 消防署	田 老 署	田野畑 分 署	新 分 里 署	川 井 分 署
	車 載 移 動 局	50		20	9	8	3	3	3	4
	携 帯 局	67	6	17	12	12	5	5	5	5
	卓上固定移動局	7		1	1	1	1	1	1	1
	V S A T可搬局	3		1	1	1				
	区 分	計	消 防 部	宮 古 消防署	山 田 消防署	岩 泉 消防署	田 老 署	田野畑 分 署	新 分 里 署	川 井 分 署
通 信 指 令 施 設		1	1							
火災報知専用電話回線数		5	5							
火災問合専用電話回線数		5	5							
一般加入電話回線数		13	1	3	3	2	1	1	1	1
F A X 回 線 数		10	3	1	1	1	1	1	1	1
内 線 電 話		106	15	16	17	16	8	11	7	16
地 上 系 携 帯 電 話		9	2	1	1	1	1	1	1	1
地上系携帯電話(車載)		11		3	2	2	1	1	1	1
衛 星 系 携 帯 電 話		8	1	1	1	1	1	1	1	1
衛星系携帯電話(車載)		12		4	2	2	1	1	1	1
庁 内 放 送		7	1		1	1	1	1	1	1
サイレン吹鳴装置		6		1	1	1		1	1	1

※ サイレン吹鳴装置は、市町村より委託されているもの。

令和元年中 管轄所属・回線別災害等通報状況

管轄所属	回線種別	災害受信件数					災害以外の受信件数					計
		火災	救急	救助	警戒	調査	問合せ	間違い	いたずら	試験訓練	その他	
宮古消防署	固定 119	1	658			7	4	33		382	76	1,161
	I P 119	3	417			1	7	10		127	44	609
	携帯 119	10	612	4		4	12	53		80	124	899
	加入電話	1	247	7		9	1			1	3	269
	その他		17			1				3		21
	小計	15	1,951	11		22	24	96		593	247	2,959
山田消防署	固定 119	1	220			2		27		85	34	369
	I P 119	2	117	1		1	1	4		35	8	169
	携帯 119	3	235	1		1	10	53		13	43	359
	加入電話		123	2		4						129
	その他		16				1					17
	小計	6	711	4		8	12	84		133	85	1,043
岩泉消防署	固定 119	2	134			6		6		45	20	213
	I P 119	1	52	1				4		21	4	83
	携帯 119	3	93	5			1	13	1	5	22	143
	加入電話	1	139	1		8						149
	その他		2							3		5
	小計	7	420	7		14	1	23	1	74	46	593
田老分署	固定 119		30				2			30	2	64
	I P 119		38					2		13	1	54
	携帯 119	2	44			1		4		4	7	62
	加入電話		45	3		2						50
	その他		6			2						8
	小計	2	163	3		5	2	6		47	10	238
田野畑分署	固定 119		40					3		29	10	82
	I P 119		28					2		12	3	45
	携帯 119	1	37	2		1	2	3		5	11	62
	加入電話		38			1						39
	その他		6			1				2		9
	小計	1	149	2		3	2	8		48	24	237
新里分署	固定 119		41	1				4		33	7	86
	I P 119		43							12	3	58
	携帯 119	2	31	1				1		3	7	45
	加入電話		49	3		3						55
	その他		7									7
	小計	2	171	5		3		5		48	17	251
川井分署	固定 119		44					2		34	7	87
	I P 119		19							7	3	29
	携帯 119	2	33	1				2		12	17	67
	加入電話	3	37	3		1						44
	その他		3									3
	小計	5	136	4		1		4		53	27	230
管轄外	固定 119											
	I P 119											
	携帯 119	1	2				1				4	8
	加入電話											
	その他											
	小計	1	2				1				4	8
不明	固定 119						2				8	10
	I P 119											
	携帯 119						12				1	13
	加入電話											
	その他											
	小計						14				9	23
計	固定 119	4	1,167	1		15	8	75		638	164	2,072
	I P 119	6	714	2		2	8	22		227	66	1,047
	携帯 119	24	1,087	14		7	38	129	1	122	236	1,658
	加入電話	5	678	19		28	1			1	3	735
	その他		57			4	1			8		70
	小計	39	3,703	36		56	56	226	1	996	469	5,582

デジタル無線基地局・簡易基地局等エリア概略図



気象予警報・津波予報等発表状況

(平成31年1月1日～令和元年12月31日)

警報・注意報種別			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
特別警報	波浪														0
	大雨											1			1
	大雪														0
	暴風														0
	暴風雪														0
	高潮														0
小計			0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
警報	波浪				1							2		1	4
	大雨								1	1		3			5
	洪水								1	1		2			4
	大雪														0
	暴風											1			4
	暴風雪														1
注意報	高潮											1			1
	濃霧														
	大雪														
	風雪														
	着雪														
	融雪														
小計			1	2	2	0	0	0	2	2	0	9	0	1	19
注意報	乾燥		5	6	7	4	4						3	6	35
	強風		12	9	10	7	8	2	1	1	3	8	13	11	85
	大雨				1	1	1	7	5	5		10			30
	洪水				1		1	6	3	2		7			20
	波浪		9	5	7	5	1	2	2	2	3	8	5	6	55
	高潮		1		1			1	1	9	2	5	3	1	24
	濃霧			4	5	6	5	9	6	8	15	17	3	4	82
	大雪			1	4									1	6
	風雪		5	1	3	1							1	2	13
	着雪			1	4									1	6
	融雪														0
	低温			2					1					2	5
	霜			1										1	2
	雷				9	4	1					6			20
小計			33	30	48	38	29	38	30	36	27	66	31	36	442
情報	台風											20			20
	大雨				2			10	2	13		29			56
	大雪													2	2
	その他		6	11	5	3	2	1	10	21	2	4	3	4	72
小計			6	11	7	3	2	11	12	34	2	53	3	6	150
土砂災害警戒情報										1		2			3
火災気象通報			6	6	7	5	6	1			1	8	7	4	51
合計			46	49	64	46	37	50	44	73	30	139	41	47	666
大津波警報															0
津波警報															0
津波注意報															0
津波予報															0
小計				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
津波情報															0
地震情報			14	9	13	8	15	13	9	21	9	3	13	22	149
合計			14	9	13	8	15	13	9	21	9	3	13	22	149

- ア 気象予警報は、令和元年中に『宮古地域』を対象に発表されたものを計上しています。
- イ 気象情報のその他は、強風、暴風、雷、突風、高波、暴風雪、低温、黄砂等の岩手県気象情報です。
- ウ 津波警報等は、令和元年中に『岩手県』を対象に発表されたものを計上しています。

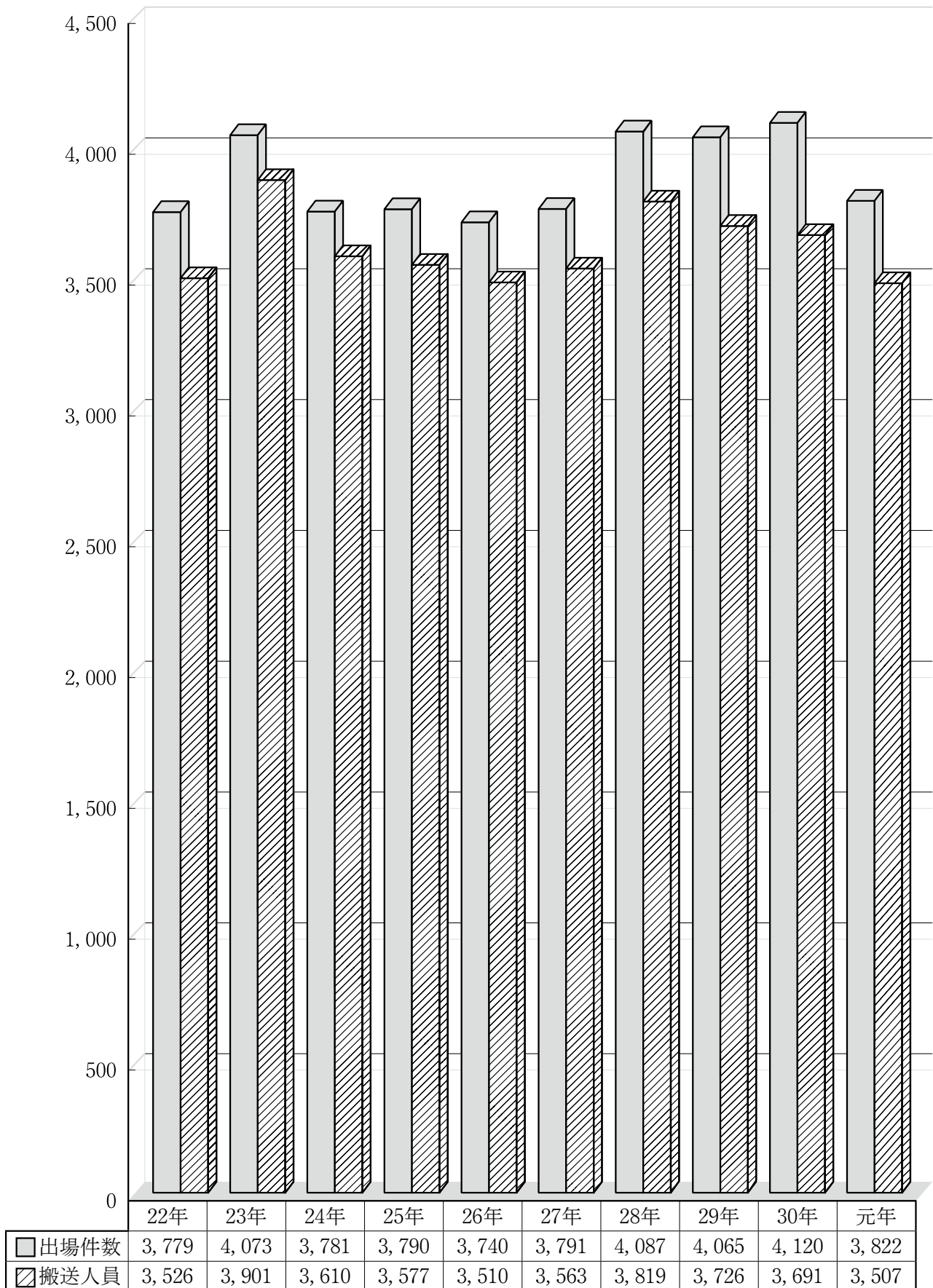
VII 救 急
救 助

月 別 救 急 活 動 状 況

(令和元年中)

月別	事故種別 出場・搬送別	合計	救 急 事 故 種 別											不 搬 送
			火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	
計	出場件数	3,822	9	2	4	164	36	15	465	16	19	2,757	335	368
	搬送人員	3,507	7	2	3	178	35	13	426	16	10	2,504	313	
1月	出場件数	391				15			50		2	304	20	36
	搬送人員	360				17			46		2	275	20	
2月	出場件数	286				10	3	1	37	2	1	202	30	29
	搬送人員	258				10	3	1	32	3	1	181	27	
3月	出場件数	344	2			17	5	2	32	3		249	34	32
	搬送人員	316	2			18	4	2	30	2		225	33	
4月	出場件数	292	2			7		1	31		1	225	25	25
	搬送人員	271	1			10		1	28		1	206	24	
5月	出場件数	291			2	14	3	2	26	1	2	216	25	27
	搬送人員	270			1	17	3	1	25	1	1	198	23	
6月	出場件数	297			1	12	4	4	38	2	1	199	36	27
	搬送人員	271			1	10	4	4	34	2	1	181	34	
7月	出場件数	334				18	6	1	43	1	2	243	20	34
	搬送人員	304				17	6	1	41		1	220	18	
8月	出場件数	386	1			16	3	2	48	2	3	279	32	37
	搬送人員	359				20	3	2	44	4	1	255	30	
9月	出場件数	277	1			15	3		41	1	3	200	13	22
	搬送人員	264	1			23	3		39	1	2	182	13	
10月	出場件数	307	1	2	1	14	2	1	36	1	2	207	40	32
	搬送人員	279		2	1	14	2		32	1		191	36	
11月	出場件数	299	1			10	5	1	35	1	1	219	26	34
	搬送人員	268				10	5	1	34	1		193	24	
12月	出場件数	318	1			16	2		48	2	1	214	34	33
	搬送人員	287	3			12	2		41	1		197	31	

救急活動の推移（過去10年間）

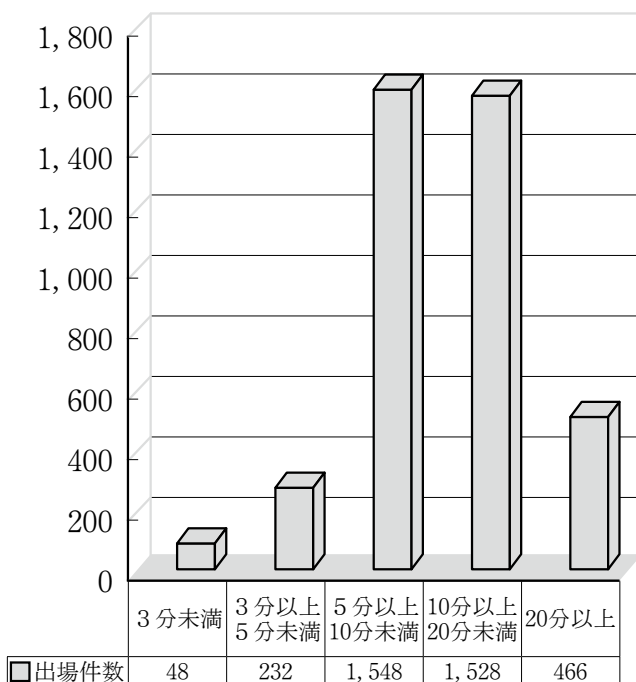


所 属 別 救 急 活 動 状 況

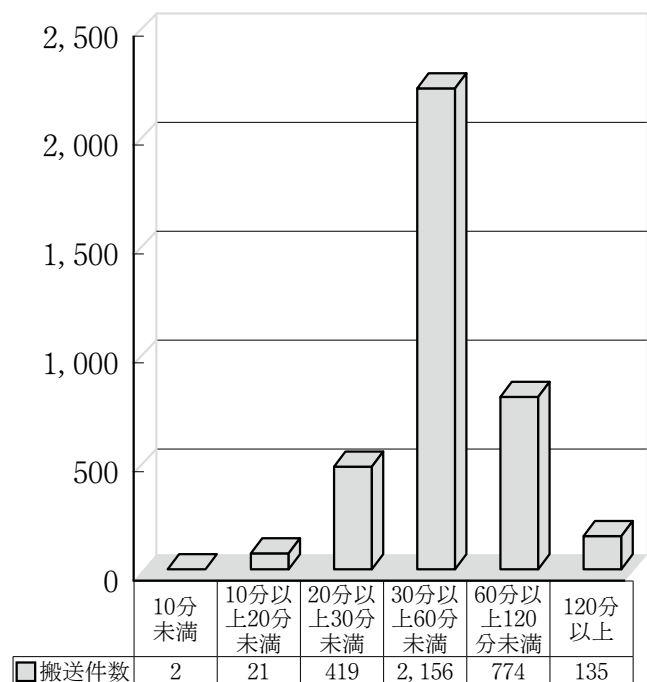
(令和元年中)

事故種別 署 別 出 場 ・ 搬 送 別		合計	救 急 事 故 種 別										そ の 他
			火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	
計	出場件数	3,822	9	2	4	164	36	15	465	16	19	2,757	335
	搬送人員	3,507	7	2	3	178	35	13	426	16	10	2,504	313
宮古消防署	出場件数	2,007	7	1	2	83	12	9	249	12	11	1,448	173
	搬送人員	1,862	6	1	2	88	12	8	232	13	6	1,334	160
山田消防署	出場件数	722	1	1		20	7	1	83	2	3	532	72
	搬送人員	638	1	1		21	7		73	1		462	72
岩泉消防署	出場件数	441			1	19	6	2	58	2	3	308	42
	搬送人員	409			1	23	5	2	54	2	2	283	37
田 老 分 署	出場件数	170				5	4	1	19			131	10
	搬送人員	154				6	4	1	18			116	9
田野畑分署	出場件数	160	1		1	9		1	27			114	7
	搬送人員	142				7		1	23			106	5
新 里 分 署	出場件数	185				13	2	1	15		1	137	16
	搬送人員	174				15	2	1	14		1	125	16
川 井 分 署	出場件数	137				15	5		14		1	87	15
	搬送人員	128				18	5		12		1	78	14

現場到着所要時間別出場状況



収容所要時間別搬送状況



時 間 別 出 場 件 数

(令和元年中)

事故種別 区分		火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				計
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 機 材 搬 送	そ の 他	
計		9	2	4	164	36	15	465	16	19	2,757	313	14		8	3,822
時 間 別 内 訳	0～2				4			16	4		123	2			1	150
	2～4		1		4			16	2		136	1				160
	4～6	1			5	1		12		2	133	4				158
	6～8	1	1		11	2		33		2	274	5			1	330
	8～10				24	12	2	74		3	346	63	2		1	527
	10～12	3		2	13	8	5	61		1	285	85	4		1	468
	12～14	1		1	32	3	2	50		3	288	56	5			441
	14～16				21	7	2	57		2	240	43	3		1	376
	16～18				28	1	3	53	1	3	277	34			1	401
	18～20	1			10	1		47	2	2	295	10			2	370
	20～22	2		1	4	1	1	27	4		201	8				249
	22～24				8			19	3	1	159	2				192

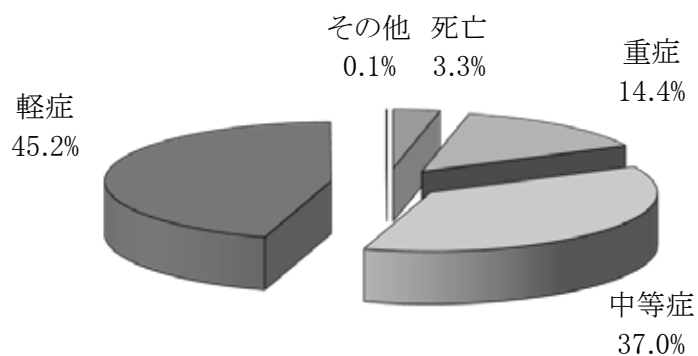
時 間 別 搬 送 状 況

(令和元年中)

事故種別 区分		火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	計
計		7	2	3	178	35	13	426	16	10	2,504	313	3,507
時 間 別 内 訳	0～2				3			13	2		107	2	127
	2～4		1		3			13	3		123	1	144
	4～6	1			3	1		12			122	4	143
	6～8	1	1		10	2		31		1	249	5	300
	8～10				36	12		69		2	318	63	500
	10～12	3		1	14	8	5	55		1	252	85	424
	12～14			1	37	3	2	45		2	260	56	406
	14～16				22	6	2	53			221	43	347
	16～18				32	1	3	49		2	251	34	372
	18～20	1			8	1		44	2	1	273	10	340
	20～22	1		1	4	1	1	26	4		184	8	230
	22～24				6			16	5	1	144	2	174

傷病程度別搬送人員

死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
117人	504人	1,298人	1,586人	2人	3,507人



死 亡：初診時において死亡が確認されたもの

重 症：傷病の程度が三週間以上の入院加療を必要とするもの

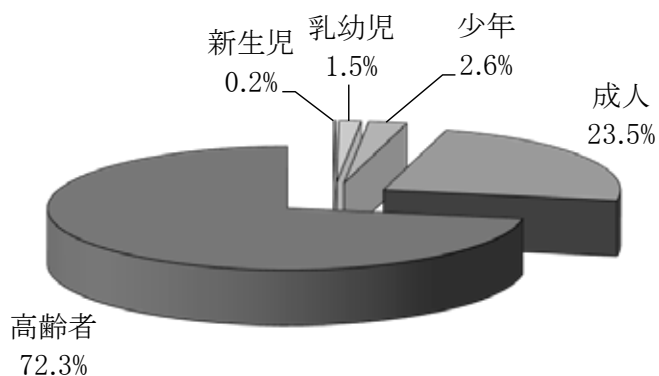
中等症：傷病の程度が入院加療を必要とするもので重症に至らないもの

軽 症：傷病の程度が入院加療を必要としないもの

その他：医師の診断がないもの及び「その他の場所」へ搬送したもの

年 齢 別 搬 送 人 員

新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
6人	52人	90人	825人	2,534人	3,507人



新生児：生後28日以内の者

乳幼児：生後29日以上満7歳未満の者

少 年：満7歳以上満18歳未満の者

成 人：満18歳以上65歳未満の者

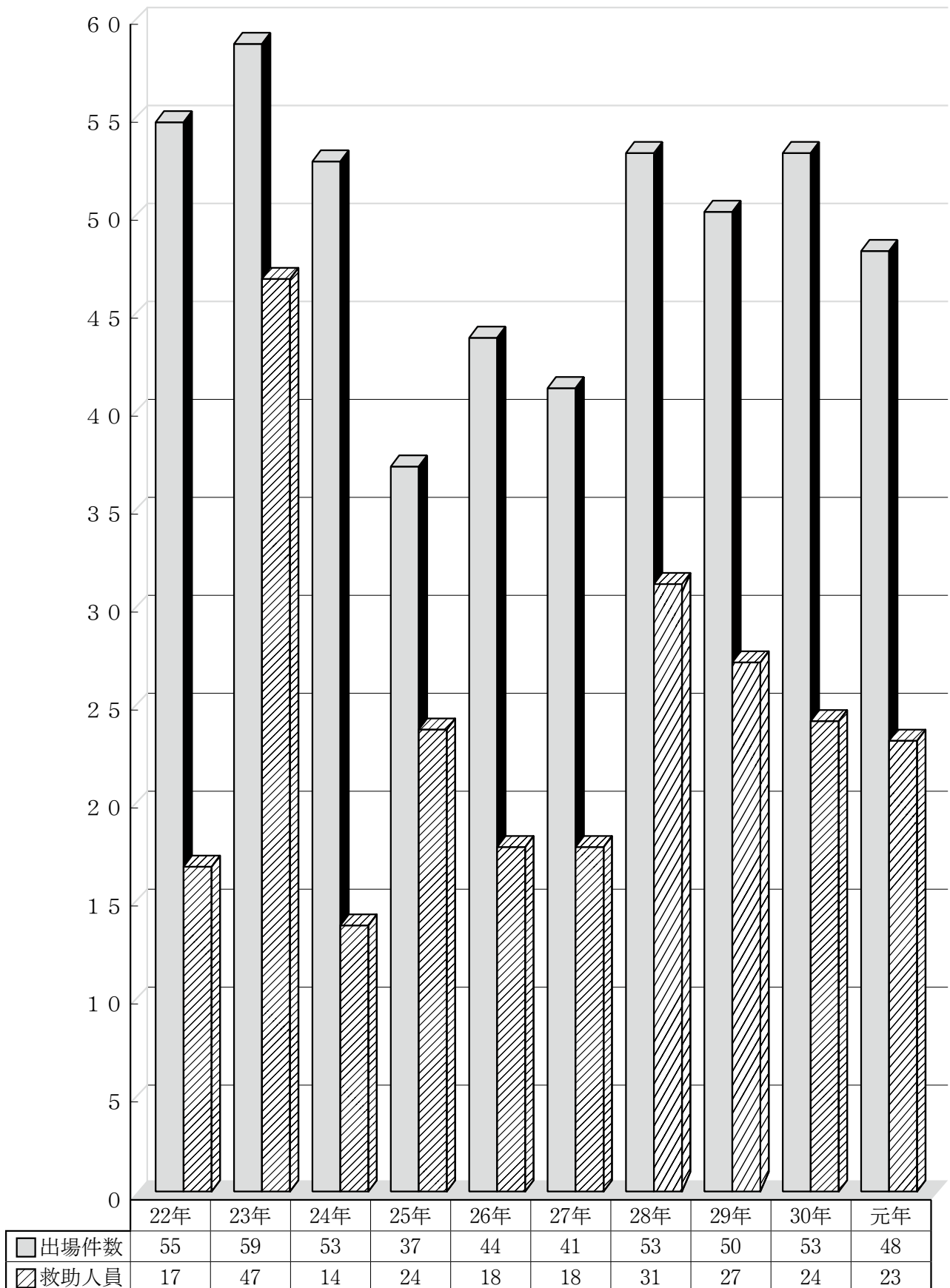
高齢者：満65歳以上の者

所属別救助活動状況

(令和元年中)

事故種別 署・分署別		計	火 災		交通 事故	水 難 事 故	風水害等自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	爆 発 事 故	その他の事故
			建物	建物以外								
計	出動件数	48	2	0	21	3	10	2	0	0	0	10
	活動件数	21	2	0	6	3	5	1	0	0	0	4
	救助人員	23	1	0	6	3	8	1	0	0	0	4
宮古消防署	出動件数	19	2		3	1	6	1				6
	活動件数	11	2		2	1	2	1				3
	救助人員	10	1		2	1	2	1				3
山田消防署	出動件数	4			2		2					
	活動件数	3			1		2					
	救助人員	6			1		5					
岩泉消防署	出動件数	10			7	1		1				1
	活動件数	2			1	1						
	救助人員	2			1	1						
田 老 分 署	出動件数	4			1		2					1
	活動件数	2					1					1
	救助人員	2					1					1
田野畑分署	出動件数	2			1							1
	活動件数	0										
	救助人員	0										
新 里 分 署	出動件数	4			2	1						1
	活動件数	1				1						
	救助人員	1				1						
川 井 分 署	出動件数	5			5							
	活動件数	2			2							
	救助人員	2			2							

救助活動の推移（過去10年間）



所属別救助出動（活動）人員状況

（令和元年中）

事故種別 署・分署別		計	火 災		交通 事故	水 難 事 故	自然 風 水 災 害 等	よ る 機 械 に よ る 事 故	よ る 建 物 等 に よ る 事 故	酸 欠 事 故	ガ ス 及 び	爆 発 事 故	事 其 他 の 故
			建 物	以 建 外 物									
計	出動人員	429	35	0	207	32	54	11	0	0	0	0	90
	活動人員	182	23	0	55	23	33	4	0	0	0	0	44
宮古消防署	出動人員	168	35		29	10	34	4					56
	活動人員	110	23		22	10	16	4					35
山田消防署	出動人員	28			16		12						
	活動人員	20			8		12						
岩泉消防署	出動人員	80			56	12		7					5
	活動人員	9			3	6							
田 老 分 署	出動人員	30			11		8						11
	活動人員	14					5						9
田野畑分署	出動人員	17			8								9
	活動人員	0											
新 里 分 署	出動人員	41			22	10							9
	活動人員	7				7							
川 井 分 署	出動人員	65			65								
	活動人員	22			22								

救助出動（活動）車両状況

（令和元年中）

事故種別 車両別		計	火 災		交通 事故	水 難 事 故	自然 風 水 災 害 等	よ る 機 械 に よ る 事 故	よ る 建 物 等 に よ る 事 故	酸 欠 事 故	ガ ス 及 び	爆 発 事 故	事 其 他 の 故
			建 物	以 建 外 物									
出 動 車 両	救 助 工 作 車	39			21	3	5	2					8
	消 防 ポンプ自動車	26	6		9	2	6	1					2
	屈折はしご付消防ポンプ車	1											1
	化学消防ポンプ車	1				1							
	指 揮 車	11	3		2	1	2						3
	高規格救急自動車	50	1		35	3	1	1					9
	そ の 他	8			2	1	2						3
計		136	10	0	69	11	16	4	0	0	0	0	26
活 動 車 両	救 助 工 作 車	12			4	2	3	1					2
	消 防 ポンプ自動車	11	4		3	1	3						
	屈折はしご付消防ポンプ車	0											
	化学消防ポンプ車	0											
	指 揮 車	7	1		1		2						3
	高規格救急自動車	16	1		8	2	1						4
	そ の 他	6			2		2						2
計		52	6	0	18	5	11	1	0	0	0	0	11

VIII 火 災

火 災 の 概 況

(令和元年の火災と前年比較)

		単 位	令和元年 (A)	平成30年 (B)	増減 (A)－(B)
出 火 件 数		件	36	25	11
	建 物		18	14	4
	林 野		9	5	4
	車 両		2	4	△ 2
	船 舶			1	△ 1
	航 空 機				0
	そ の 他		7	1	6
焼 損 棟 数		棟	49	29	20
	全 焼		21	11	10
	半 焼		4		4
	部 分 焼		19	13	6
	ぼ や		5	5	0
焼 損 面 積			—	—	—
	建物床面積	m ²	2,302	867	1,435
	建物表面積	m ²	176	57	119
	林 野 面 積	a	345	4,637	△ 4,292
死 傷 者	傷 者		10	10	0
	死 者	人	3	7	△ 4
	負 傷 者	人	7	3	4
り 災 世 帯 数		世帯	28	11	17
	全 損		8	5	3
	半 損		3	2	1
	小 損		17	4	13
損 害 額		千円	119,333	149,169	△ 29,836
	建 物		114,735	34,918	79,817
	林 野		3,310	42,631	△ 39,321
	車 両		247	607	△ 360
	船 舶			71,012	△ 71,012
	航 空 機				0
	そ の 他		1,041	1	1,040
出 火 率 (件)			4.5	3.0	1.5

※その他の火災とは

空地に置かれた材木が燃えた場合、あるいは道路上に放置されたごみが燃えた場合など、建物、林野、車両、船舶、航空機の火災種別以外の火災がその他の火災として分類されます。

※火災による死者とは

火災現場において、火災により死亡した者。または、火災による負傷後48時間以内に死亡した者も死者として扱われます。消防吏員、消防団員については、火災を覚知してから火災現場を引き上げるまでに死亡した者をいいます。

※出火率とは

人口1万人当たりの出火件数をいいます。

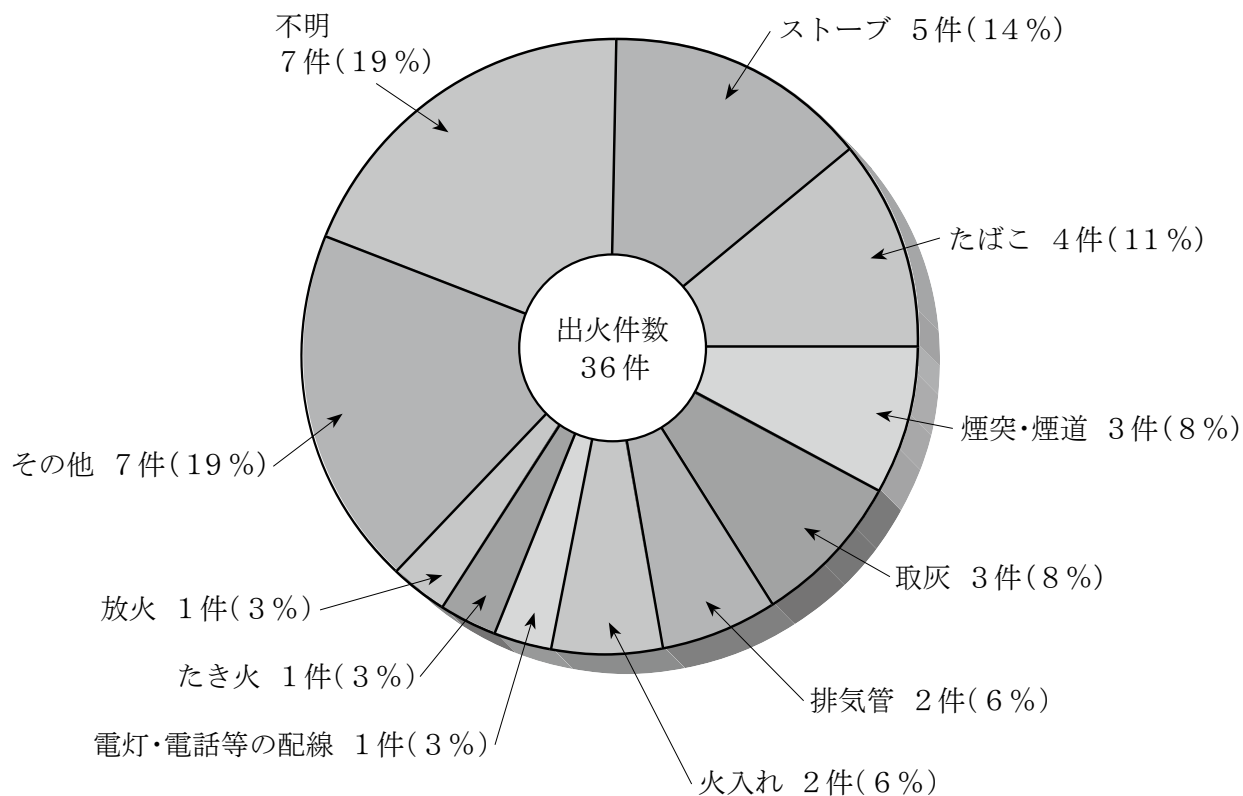
市町村別火災発生状況

(令和元年中)

市町村別 区 分		計	宮 古 市	山 田 町	岩 泉 町	田 野 畑 村
出 火 件 数	計	36	23	6	6	1
	建 物	18	10	5	2	1
	林 野	9	7		2	
	車 両	2	2			
	船 舶					
	航 空 機					
	そ の 他	7	4	1	2	
焼 損 棟 数	計	49	31	9	6	3
	全 焼	21	11	4	4	2
	半 焼	4	2	1	1	
	部 分 焼	19	14	3	1	1
	ぼ や	5	4	1		
焼 損 面 積	床 面 積(m ²)	2,302	1,252	557	413	80
	表 面 積(m ²)	176	141	31		4
	林 野(a)	345	343		2	
り 災 世 帯 数	計	28	20	6	2	
	全 損	8	4	3	1	
	半 損	3	2	1		
	小 損	17	14	2	1	
死 傷 者	計	10	9	1		
	死 者	3	2	1		
	負 傷 者	7	7			
損 害 額 (千円)	計	119,333	82,734	31,859	3,306	1,434
	建 物	114,735	78,709	31,635	2,957	1,434
	林 野	3,310	2,961		349	
	車 両	247	247			
	船 舶					
	航 空 機					
	そ の 他	1,041	817	224		

火災原因別出火件数

(令和元年中)



四季別火災発生件数

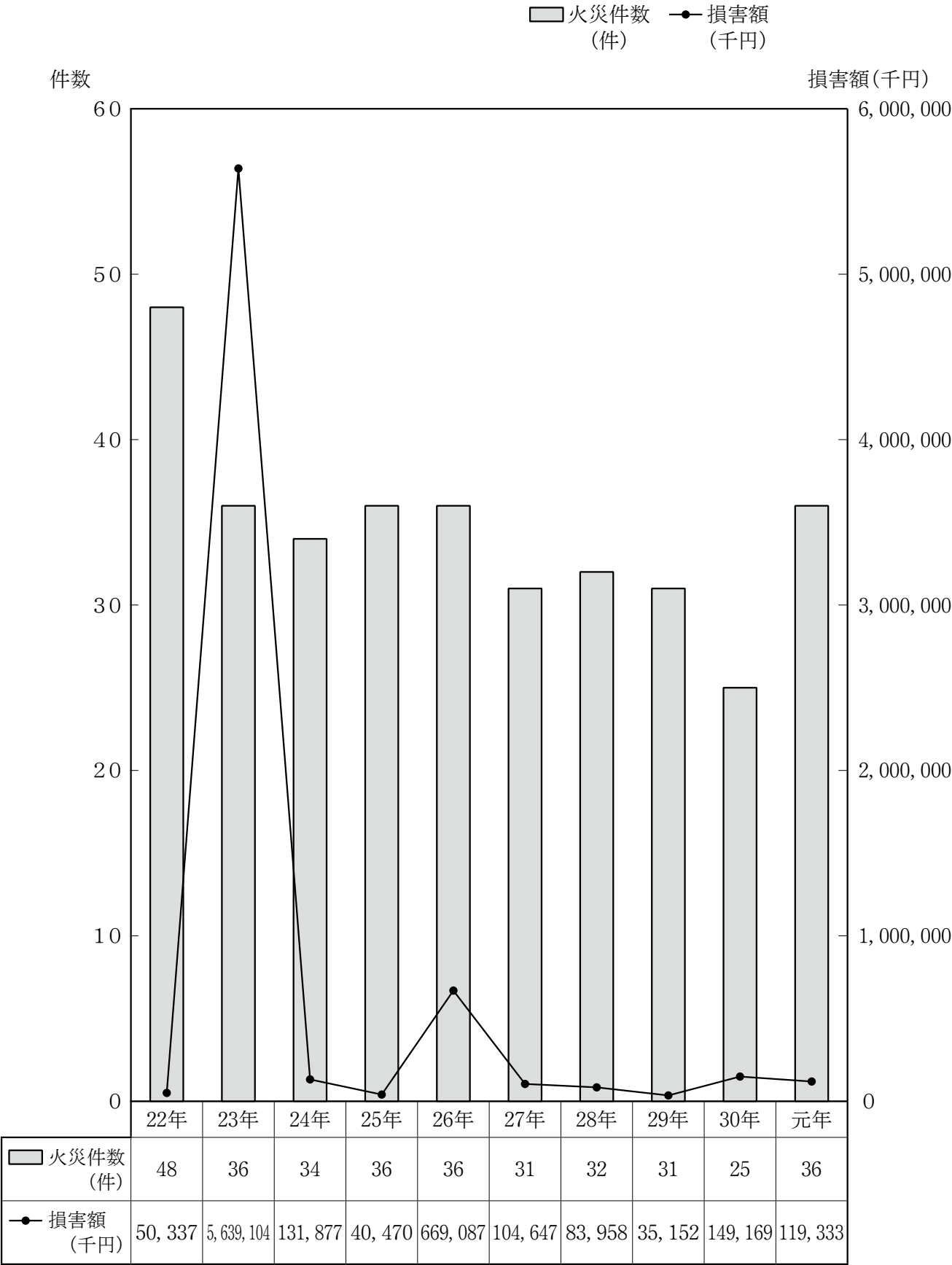
火災覚知別件数

(令和元年中)

四季別 \ 年別	令和元年	平成30年
計	36件	25件
春 (3月～5月)	13件 36%	9件 36%
夏 (6月～8月)	3件 8%	6件 24%
秋 (9月～11月)	7件 20%	2件 8%
冬 (12月～2月)	13件 36%	8件 32%

覚知別 \ 年別	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他
計 (件)	36	18	9	2			7
119番	固定から	8	6	1			1
	携帯から	21	11	6			4
加入電話	固定から	3	1	2			
	携帯から	3		2			1
警察電話							
駆け付け							
事後聞知							
その他	1						1

累年の火災発生件数と損害額



IX 消 防 団

広域市町村別消防力の現況

令和2年4月1日現在

種 別 市町村	団 員 数	分 団 数	普通消防 ポンプ車	小型動力 ポ ン プ	積 載 車 小型動力 ポ ン プ	資 機 材 搬 送 車	その他の 車 両	計
宮 古 市	1,119	45	46	60	23	0	1	130
山 田 町	308	13	13	13	0	2	2	30
岩 泉 町	514	8	16	42	24	1	2	85
田 野 畑 村	189	4	6	9	9	0	1	25
合 計	2,130	70	81	124	56	3	6	270

在職年数別消防団員数

令和2年4月1日現在

年 齢 市町村	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上	計
宮 古 市	160	121	182	131	113	130	282	1,119
山 田 町	66	46	57	42	38	17	42	308
岩 泉 町	74	86	64	85	60	69	76	514
田 野 畑 村	17	25	30	45	32	21	19	189
合 計	317	278	333	303	243	237	419	2,130

年 齢 別 消 防 団 員 数

令和2年4月1日現在

市町村 年 齢	宮 古 市	山 田 町	岩 泉 町	田野畑村	計
20歳未満	4	3	0	0	7
20～24	28	29	8	2	67
25～29	37	23	30	8	98
30～34	66	35	55	18	174
35～39	117	57	56	21	251
40～44	145	37	67	48	297
45～49	145	46	73	22	286
50～54	132	37	69	26	264
55～59	171	26	74	29	300
60歳以上	274	15	82	15	386
平 均	49.8	41.0	47.1	45.7	47.5

管内消防団の組織機構

令和2年4月1日現在

宮古市	宮古市消防団	45分団 1,119名
市長 山本正徳	団長 山下修治	

山田町	山田町消防団	13分団 308名
町長 佐藤信逸	団長 内館秋雄	

岩泉町	岩泉町消防団	8分団 514名
町長 中居健一	団長 八重樫芳令	

田野畑村	田野畑村消防団	4分団 189名
村長 石原弘	団長 上村繁幸	

計70分団 2,130名
